

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	倉林 正彦	循環器内科	21,000	補 委 公益財団法人 循環器病研究 振興財団
HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究	堀口 淳	乳腺・内分泌外科	40,000	補 委 一般社団法人 JBCRG
金属錯体を発光プローブとするヒトの低酸素病態イメージングプロジェクト	秋山 英雄	眼科	1,300,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興 機構
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験(JFMC47-1202-C3)	桑野 博行	消化管外科	21,600	補 委 公益財団法人 がん集学的治 療研究財団
低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験	鈴木 和浩	泌尿器科	108,000	補 委 公益財団法人 パブリックヘル スリサーチセン ター
再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌臨床試験	桑野 博行	消化管外科	172,800	補 委 公益財団法人 がん集学的治 療研究財団
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明	福田 正人	精神科神経科	32,560,000	補 委 国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
前立腺癌診断における[-2]proPSA測定に関する臨床研究	鈴木 和浩	泌尿器科	432,000	補 委 一般社団法人 九州臨床研究 支援センター
筋萎縮性側索硬化症等神経難病患者及び家族に対する療養支援体制の整備と、医療及び地域支援ネットワーク構築に関する研究	池田 佳生	脳神経内科	3,740,800	補 委 群馬県
難病患者及び家族に対する相談体制の整備と支援体制に関する研究	池田 佳生	脳神経内科	7,647,200	補 委 群馬県
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	塚本 憲史	腫瘍センター	400,000	補 委 国立研究開発 法人国立がん 研究センター
進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対する腹腔内化学療法確立のための研究	平川 隆史	産婦人科	100,000	補 委 学校法人埼玉 医科大学
自然経過および病態進展の評価に必要な臨床データの集積	羽鳥 麗子	医療人能力開発センター	400,000	補 委 地方独立行政 法人大阪府立 急性期・総合 医療センター
GWASプロジェクト、その他の病因、病態解明プロジェクト、強皮症の活動性・予後予測因子の抽出、新規治療開発	石川 治	皮膚科	165,000	補 委 国立大学法人 熊本大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
気分障害補助診断法としてのMRIについてのNIRSをモデルとした実用システム開発研究	福田 正人	精神科神経科	1,690,000	補 委	国立大学法人 東京大学
画像誘導小線源治療の研究	中野 隆史	放射線科	400,000	補 委	独立行政法人 国立がん研究 センター
中央病理診断と遺伝子解析、検体保存システムの確立と運用	平戸 純子	病理部	1,500,000	補 委	地方独立行政 法人大阪市民 病院機構
異常タンパク伝播仮説に基づく神経疾患の画期的治療法の開発	藤田 行雄	脳神経内科	1,500,000	補 委	公益財団法人 東京都医学総 合研究所
131I-MIBG内照射療法患者登録・治療実施	樋口 徹也	核医学	3,000,000	補 委	国立大学法人 金沢大学
小児AMLにおけるRNAシーケンスによる層別化技術の精度向上	柴 徳生	小児科	2,490,000	補 委	国立病院機構 名古屋医療セ ンター
MINtS検査(NEJ21a)への症例登録	砂長 則明	腫瘍センター	832,000	補 委	自治医科大学
認知症の当事者・家族の視点に基づく療養指導のためのエビデンス構築研究	山口 晴保	リハビリテーション学	500,000	補 委	国立研究開発 法人国立長寿 医療研究セン ター
非翻訳マイクロサテライト・リピート伸長による脊髄小脳失調症のribonuclear foci形成を指標にした治療薬の探索	池田 佳生	脳神経内科	800,000	補 委	国立研究開発 法人国立精神・ 神経医療研究 センター
甲状腺ホルモン不応症診療ガイドライン作成に関する研究	山田 正信	内分泌糖尿病内科	650,000	補 委	公立大学法人 和歌山県立医 科大学
重症型原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築	山田 正信	内分泌糖尿病内科	700,000	補 委	独立行政法人 国 立病院機構京都 医療センター
間脳下垂体機能障害に関する長期予後調査研究	峯岸 敬	産科婦人科学	364,000	補 委	独立行政法人 国 立病院機構京都 医療センター
間脳下垂体機能障害に関する長期予後調査研究	山田 正信	内分泌糖尿病内科	364,000	補 委	独立行政法人 国 立病院機構京都 医療センター
血管平滑筋細胞におけるElovl6の機能と動脈硬化・肺高血圧症における役割の説明	倉林 正彦	循環器内科	5,330,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
ゼノ核酸アプタマー創薬基盤技術の開発	山田 正信	内分泌糖尿病内科	3,250,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
ゼノ核酸アプタマー創薬基盤技術の開発	中島 康代	患者支援センター	650,000	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「C型肝炎救済のための調査研究および安全対策等に関する研究」C型肝炎患者さんの感染経路に関するアンケート調査	柿崎 暁	消化器・肝臓内科	550,000	補 委	独立行政法人国立 病院機構長崎医 療センター
多施設共同による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	調 憲	肝胆膵外科	1,000,000	補 委	国立大学法人 九州大学
高齢者化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期扁平上皮肺癌に対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第Ⅲ相試験	解良 恭一	がん治療臨床開発学	216,000	補 委	国立病院機構 名古屋医療セ ンター
治療・予防法の開発	荒川 浩一	小児科	1,000,000	補 委	福岡市立こども 病院
アドレノメデュリンの循環作用と麻酔薬－作用機序の解明と敗血症における意義－	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	900,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
グリシンの炎症性疼痛・術後痛における役割の解明:VGATヘテロマウスを用いた解析	山田 真紀子	麻酔科蘇生科	900,000	補委	日本学術振興会
慢性痛の脳をMRIで探索し、メカニズムと予測因子を明らかにする	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	700,000	補委	日本学術振興会
多階層的疼痛治療開発:ナノ粒子とパワーアシストの臨床応用	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	500,000	補委	日本学術振興会
神経分化因子を用いた神経再生制御による神経障害性疼痛治療方法の開発	関本 研一	麻酔科蘇生科	1,000,000	補委	日本学術振興会
ドラッグデリバリーシステムを利用した周術期鎮痛法としての徐放薬の作成	鈴木 敏之	麻酔科蘇生科	900,000	補委	日本学術振興会
内因性鎮痛系における下行性抑制系の役割-基礎と臨床からのアプローチ-	小幡 英章	麻酔科蘇生科	1,000,000	補委	日本学術振興会
新規に開発した尿道カテーテルの刺激低減効果に対する無作為化比較対照試験	久保 和宏	麻酔科蘇生科	800,000	補委	日本学術振興会
神経栄養因子シグナルを用いた下行性抑制系の強化による新規慢性痛治療法の開発	須藤 貴史	麻酔科蘇生科	1,200,000	補委	日本学術振興会
術後認知機能障害のメカニズムの解明と予防法の開発:ミクログリアをターゲットとして	高澤 知規	麻酔科蘇生科	1,700,000	補委	日本学術振興会
個人識別のための死後画像検査方法の確立(大規模災害時の身元確認に資する情報収集)	徳江 浩之	放射線部	100,000	補委	日本学術振興会
がんに対する重粒子線治療法高度化の為の基礎的・臨床的研究	中野 隆史	放射線科	2,000,000	補委	日本学術振興会
非小細胞肺癌の放射線抵抗性メカニズムの解明	岡野 奈緒子	放射線科	900,000	補委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌におけるHPV statusによるX線および重粒子線治療への影響	白井 克幸	放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会
重粒子線照射に対する細胞応答反応におけるセラミドの関与の解析	河村 英将	放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会
肺癌細胞での重粒子線治療抵抗性に対するmicroRNAの関与の解析	岡本 雅彦	放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会
重粒子線がん治療におけるスケーサー手術の評価および新たな手法の開発	清原 浩樹	放射線科	700,000	補委	日本学術振興会
子宮頸癌に対するマルチモダリティ画像誘導小線源治療の確立	野田 真永	放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会
非小細胞肺癌における重粒子線と抗癌剤併用療法の開発	久保 亘輝	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
炭素イオン線による抗腫瘍免疫活性化の検討	佐藤 浩央	放射線科	2,500,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ好発性トランスジェニッククラットの解析	横尾 英明	病理部	1,700,000	補委	日本学術振興会
中枢神経系ラプドイド腫瘍の新たな分類と概念の確立	平戸 純子	病理部	600,000	補委	日本学術振興会
子宮頸部腺癌におけるHPV感染と遺伝子異常の検討-胃型形質との関係を含めて-	佐野 孝昭	病理部	1,300,000	補委	日本学術振興会
多層性ロゼットを有する胎児性脳腫瘍の遺伝子解析	信澤 純人	病理部	1,500,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
LentiPlexを利用したTN乳癌の新たな組織学的亜分類の試み	小山 徹也	病理部	2,400,000	補委	日本学術振興会
腎性全身性線維症における皮膚線維化、石灰化機序の解明	石川 治	皮膚科	800,000	補委	日本学術振興会
皮膚腫瘍におけるヒトパピローマウイルス感染の検討と病変形成メカニズムの解明	清水 晶	皮膚科	800,000	補委	日本学術振興会
分泌蛋白質MFG-E8による機能制御の解明と治療への応用	茂木 精一郎	皮膚科	1,500,000	補委	日本学術振興会
急性期褥瘡に対する間葉系幹細胞の治療効果	内山 明彦	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術振興会
皮膚の老化における核膜タンパク質ラミンAの役割	山田 和哉	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術振興会
皮膚有棘細胞癌関連線維芽細胞の解析と治療への応用	安田 正人	皮膚科	1,700,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症の皮膚硬化・血管障害におけるノルエピネフリンの役割	土岐 清香	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌・前立腺癌に対する抗サイピンおよび重粒子線による治療の基礎的研究	小池 秀和	泌尿器科	900,000	補委	日本学術振興会
ホルモンのサーカディアンリズム障害に立脚した前立腺癌リスクの解析	柴田 康博	泌尿器科	600,000	補委	日本学術振興会
イメージング質量分析による前立腺癌の脂質・ステロイド代謝に関する研究	鈴木 和浩	泌尿器科	2,500,000	補委	日本学術振興会
proPSA関連インデックスの前立腺癌進展・生物学的悪性度予測因子としての意義	伊藤 一人	泌尿器科	1,500,000	補委	日本学術振興会
アディポカインの前立腺癌増殖機構に関する基礎的・臨床的研究	新田 貴士	泌尿器科	800,000	補委	日本学術振興会
アルツハイマー病における脳脊髄液とPiB-PETを用いた認知機能と分子病態の解明	池田 将樹	脳神経内科	900,000	補委	日本学術振興会
認知症における社会脳機能の新規評価法の開発と臨床応用への挑戦	山口 晴保	脳神経内科	900,000	補委	日本学術振興会
難治性機能的脳疾患の病態機序としての視床-皮質律動異常の検証と治療への応用	平戸 政史	脳神経外科	500,000	補委	日本学術振興会
未破裂瘤インパクトの定量的評価	好本 裕平	脳神経外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
抗血管新生療法における新規biomarker検索と分子基盤の解明	藤井 孝明	乳腺・内分泌外科	800,000	補委	日本学術振興会
グルコルチコイド受容体がアロマターゼ発現に与える影響	堀口 淳	乳腺・内分泌外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
骨格筋における新規糖代謝シグナル伝達機構の解明	齋藤 従道	内分泌糖尿病内科	700,000	補委	日本学術振興会
概日時計リズムと選択的スプライシング異常によるメタボリック症候群発症病態の解明	佐藤 哲郎	内分泌糖尿病内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
癌抑制遺伝子MEN1の癌抑制機能破綻による膵β細胞腫瘍化機構の全容解明	小澤 厚志	内分泌糖尿病内科	1,200,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
原発性アルドステロン症の遺伝子変異を基盤とした新たな診断・治療・病態モデルの開発	山田 正信	内分泌糖尿病内科	4,700,000	補 委	日本学術振興会
非受容体型チロシンキナーゼFynは糖尿病性腎症でのオートファジー機構に関与するか	山田 英二郎	内分泌糖尿病内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
Two-person neuroscienceの確立と精神疾患への応用	福田 正人	精神科神経科	900,000	補 委	日本学術振興会
気分障害・適応障害における反復経頭蓋磁気刺激法を応用した鑑別診断法の検討	青山 義之	精神科神経科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
脳機能の視覚化による認知行動療法の効果増強:NIRS-CBT研究	小野 樹郎	精神科神経科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
治療抵抗性気分障害におけるインスリン抵抗性の病態生理学的影響に関する検討	成田 耕介	精神科神経科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
「自我脳」の機能にもとづく精神疾患の生活障害の解明とリハビリの脳科学	福田 正人	精神科神経科	3,900,000	補 委	日本学術振興会
ヒト先天性側弯症の原因遺伝子の同定と発症機序の解析	飯塚 伯	整形外科	800,000	補 委	日本学術振興会
細胞形態、糖代謝、微小環境からアプローチする悪性骨軟部腫瘍の転移浸潤制御	柳川 天志	整形外科	500,000	補 委	日本学術振興会
腱板断裂モデルラットにおける筋変性に対するウルソル酸の予防効果	高岸 憲二	整形外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
樹状細胞に発現する細胞質型チロシン脱リン酸化酵素に関する研究	金子 和光	腎臓・リウマチ内科	700,000	補 委	日本学術振興会
慢性腎臓病におけるアンドロゲン受容体シグナルの重要性	坂入 徹	腎臓・リウマチ内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
腎幹細胞の自己複製能と老化メカニズムの解明	前嶋 明人	腎臓・リウマチ内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
チロシン脱リン酸化系シグナル分子の遺伝子改変マウスを用いた腎炎発症機序の解明	野島 美久	腎臓・リウマチ内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
腎障害進展における腎樹状細胞の関与の検討	廣村 桂樹	腎臓・リウマチ内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
オーバル細胞増殖を介した肝再生・修復における核内受容体CARの役割	山崎 勇一	消化器・肝臓内科	500,000	補 委	日本学術振興会
炎症性腸疾患の病態における核内受容体PXR・CARの役割	柿崎 暁	消化器・肝臓内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎におけるマクロファージ遊走阻止因子(MIF)の役割	堀口 昇男	消化器・肝臓内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
肝病態連繋における核内受容体転写共役活性化因子PDIP1の役割	佐藤 賢	消化器・肝臓内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
細胞周期制御因子FBXW7を利用したGIST細胞の治療抵抗性克服を目指して	緒方 杏一	消化管外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
直腸癌に対する温熱化学放射線療法の効果予測因子として血中exosome解析	堤 荘一	消化管外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
大腸癌セツキシマブ耐性克服の 治療ツールとしてのmiR-7の意義	須藤 利永	消化管外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
オートファジー関連神経変性疾 患の治療法開発に向けたiPS細 胞の樹立と病態解明	村松 一洋	小児科	3,400,000	補 委	日本学術振興会
ニューロンにおける細胞核構造と 遺伝子発現における核ラミナの意 義	滝沢 琢己	小児科	3,900,000	補 委	日本学術振興会
腎不全患者のむずむず脚症候群 (RLS)発症機構の分子生物学的 解明と腎毒性物質同定	村松 一洋	小児科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
好塩基球細胞株を用いた新規ア レルギー検査法の開発	八木 久子	小児科	900,000	補 委	日本学術振興会
ExVivoマイクロビオームモデル構 築によるクローン病病因解明	龍城 真衣子	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
体表面十二誘導心電図による心 房粗動回路の推定法の開発	金古 善明	循環器内科	200,000	補 委	日本学術振興会
心臓リモデリングとエネルギー基 質変換における細胞型特異的 TGFβシグナルの役割	小板橋 紀通	循環器内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
潜在性致死性不整脈疾患におけ る遺伝子変異特異的顕性化因子 についての検討	中島 忠	循環器内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
脂肪酸から糖へのエネルギー基 質変換が心機能に及ぼす影響と そのメカニズムの解明	磯 達也	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
II型肺胞上皮特異的Elovl6欠損 マウス作製による新たな肺気腫進 展機序の解明	横山 知行	循環器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
心臓MRI解析による右室非同期 指標と右室多点ベージングによる 右室再同期療法の開発	太田 昌樹	循環器内科	700,000	補 委	日本学術振興会
重粒子線照射後におけるヒト癌細 胞の遊走、浸潤、転移能につい ての研究	村田 和俊	重粒子線医学研究 センター	900,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部重粒子線治療における口 腔粘膜炎症線量の解析	武者 篤	重粒子線医学研究 センター	1,000,000	補 委	日本学術振興会
婦人科腫瘍に対する画像誘導小 線源治療の確立に向けた基礎 的・臨床的研究	大野 達也	重粒子線医学セン ター	900,000	補 委	日本学術振興会
α2アドレナリン受容体作動薬徐 放薬を用いた神経障害性疼痛の 治療	松岡 宏晃	集中治療部	900,000	補 委	日本学術振興会
ICUにおける鎮痛の客観的評価 方法の確立-スキンコンダクタンス モニターを用いて	金本 匡史	集中治療部	600,000	補 委	日本学術振興会
Drug Delivery Systemを用いた新 規徐放化鎮痛薬の臨床応用	戸部 賢	集中治療部	1,200,000	補 委	日本学術振興会
敗血症性中枢神経障害における 高血糖の功罪とその是正による 神経障害軽減の可能性	門井 雄司	手術部	1,200,000	補 委	日本学術振興会
イノシトール3リン酸レセプターを レドックス制御する新規タンパクの 内耳発現形態	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
癌関連線維芽細胞を標的とした頭頸部癌の新しい治療法の開発	豊田 実	耳鼻咽喉科	700,000	補 委	日本学術振興会
前庭小脳興奮性回路における一過性虚血に対する脆弱性の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	900,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部癌への重粒子線治療によるimmunogenic cell deathの検討	近松 一朗	耳鼻咽喉科	900,000	補 委	日本学術振興会
一過性虚血による内側前庭神経核ニューロンの膜特性変化に対するセロトニンの影響	紫野 正人	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
単球系細胞とHLA-Gを標的とした頭頸部癌に対する新規免疫療法の開発	坂倉 浩一	耳鼻咽喉科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
術中聴覚モニタリングによる残存聴覚温存人工内耳手術の開発	村田 考啓	耳鼻咽喉科	800,000	補 委	日本学術振興会
顎口腔領域における蛍光血管造影法を用いたナビゲーションサージャリーの確立	宮崎 英隆	歯科口腔・顎顔面外科	300,000	補 委	日本学術振興会
周産期医療プロバイダーの専門職別チーム医療に対する態度と多職種連携教育の効果	篠崎 博光	産科婦人科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
LH作用の分子メカニズムの解明による新規排卵誘発法の開発	山下 宗一	産科婦人科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
個別化治療を目的とした胸腺腫瘍に対する分子生物学的解析	大瀧 容一	呼吸器外科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
進行非小細胞肺癌におけるxCT(シスチントランスポーター)発現の薬剤耐性機構	解良 恭一	呼吸器・アレルギー内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
アスベスト関連腫瘍における新規アクチン結合蛋白質を介した新たな発癌機構の解明	古賀 康彦	呼吸器・アレルギー内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
肺癌におけるKRAS変異によるシグナル伝達系への制御機構の解明と治療応用	砂長 則明	呼吸器・アレルギー内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
COPDおよび特発性肺線維症の病態形成における脂肪酸代謝異常の解析	前野 敏孝	呼吸器・アレルギー内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
肺線維症に対する新しい抗炎症治療戦略に関する基礎的研究	久田 剛志	呼吸器・アレルギー内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病の病態における甲状腺ホルモン代謝酵素の病態生理学的意義の解明	村上 正巳	検査部	2,900,000	補 委	日本学術振興会
糖代謝マーカーとして的高密度リポ蛋白質HDLとアポリポ蛋白M	木村 孝穂	検査部	1,500,000	補 委	日本学術振興会
2型糖尿病患者における日内血糖変動が関与する新たな動脈硬化形成機構の解明	角野 博之	検査部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
多発性骨髄腫における塩基除去修復の解析	齋藤 貴之	血液内科	900,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
悪性リンパ腫におけるグルコース代謝の解析と治療への応用	塚本 憲史	血液内科	700,000	補 委	日本学術振興会
多発性骨髄腫における腫瘍細胞自身のVE-cadherin発現と病態機構の解明	入内島 裕乃	血液内科	500,000	補 委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた骨髄腫におけるnon-coding RNAの役割解析	半田 寛	血液内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
マイクロPIXEによる骨髄腫細胞における微量元素の動態解明と新規治療薬の開発	村上 博和	血液内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
肺高血圧症におけるPIAS1/SUMO化による血管平滑筋分化誘導機構の解明	小和瀬 桂子	救命・総合医療センター(総合診療)	1,300,000	補 委	日本学術振興会
心肺停止時における血管収縮物質動態に基づいた心肺蘇生法確立に関する実験的研究	大嶋 清宏	救命・総合医療センター(救急)	1,100,000	補 委	日本学術振興会
イリジウム錯体を用いた網膜低酸素病態イメージングの開発	秋山 英雄	眼科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
網膜剥離の視細胞死におけるFasリガンドの役割と神経保護	松本 英孝	眼科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
immunoNBによる新しい腫瘍特性超音波造影剤の開発と薬物送達担体としての応用	対馬 義人	核医学科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
Cu-64 DOTA-TATEによる転移性甲状腺癌のPET診断に関する研究	樋口 徹也	核医学科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
県内全域の一般スポーツ施設にて心臓リハビリテーションを実施する試み	松尾 弥枝	リハビリテーション部	400,000	補 委	日本学術振興会
RFIDを用いた病院内業務効率化の検討	齋藤 勇一郎	システム統合センター	900,000	補 委	日本学術振興会
精神疾患患者の整形外科領域を中心とする合併症に関する研究	高岸 憲二	整形外科	5,700,000	補 委	厚生労働省

計153件

計 224,394,400 円

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等がH27年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記載。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記載。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記載。
- 4 「所属部門」欄の名称は、H27年度時点のもの。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Tshilela KA, Ikeuchi H, Matsumoto T, Kuroiwa T, Sakurai N, Sakairi T, Kaneko Y, Maeshima A, Hiromura K, Nojima Y.	腎臓・リウマチ内科	Glomerular cytokine expression in murine lupus nephritis.	Clin Exp Nephrol
2	Nakasatomi M, Maeshima A, Mishima K, Ikeuchi H, Sakairi T, Kaneko Y, Hiromura K, Nojima Y.	腎臓・リウマチ内科	Novel approach for the detection of tubular cell migration into the interstitium during renal fibrosis in rats.	Fibrogenesis Tissue Repair.
3	Nakamura I, Takahashi K, Yasuda M, Okada E, Ishikawa O, Uezato H.	群馬大学皮膚科、琉球大学皮膚科	A novel chromosomal translocation causing COL1A2 to PDGFB gene fusion in dermatofibrosarcoma protuberans: PDGF expression as a new DFSP diagnostic tool.	JAMA Dermatol 151(12):1330-1337, 2015
4	Hattori M, Yokoyama Y, Hattori T, Motegi S-I, Amano H, Hatada I, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Global DNA hypomethylation and hypoxia-induced expression of the ten eleven translocation (TET) family, TET1, in scleroderma fibroblasts.	Exp Dermatol 24:841-846, 2015
5	Motegi S-I, Uchiyama A, Yamada K, Perera B, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Pathogenesis of multiple lentiginos in LEOPARD Syndrome with PTPN11 gene mutation.	Acta Derm Venereol. 95(8):978-984, 2015
6	Shimizu A, Kaira K, Kato M, Yasuda M, Takahashi T, Tominaga H, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Asao T, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科/群馬大学がん治療臨床開発学(寄付講座)/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科/病理部	Prognostic significance of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in cutaneous melanoma.	Melanoma Res 25(5):399-405, 2015
7	Uchiyama A, Yamada K, Perera B, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Ishikawa O, Motegi S-I.	群馬大学皮膚科	Protective effect of botulinum toxin A after cutaneous ischemia-reperfusion injury.	Sci Rep Mar 13; 5: 9072., 2015
8	Kato M, Shimizu A, Yamamoto A, Shimomura Y, Ishikawa O.	皮膚科/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	An autosomal recessive mutation of DSG4 causes monilethrix through the ER stress response.	J Invest Dermatol 135(5):1253-1260, 2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
9	Toki S, Motegi S-I, Yamada K, Uchiyama A, Kanai S, Yamanaka M, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Clinical and laboratory features of systemic sclerosis complicated with localized scleroderma.	J Dermatol 42(3):283-287, 2015
10	Uchiyama A, Yamada K, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Udey MC, Ishikawa O, Motegi S-I.	群馬大学皮膚科	Protective effect of MFG-E8 after cutaneous ischemia-reperfusion injury.	J Invest Dermatol 135(4):1157-65, 2015
11	Motegi S-I, Uchiyama A, Yamada K, Toki S, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Lichen planus complicated with thymoma: Report of three Japanese cases and review of the literature.	J Dermatol, 42(11):1072-1077, 2015
12	Uchiyama A, Motegi S-I, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Lymphomatoid papulosis associated with follicular B-cell lymphoma in lymph nodes.	J Dermatol. 42(11):1129-1130, 2015
13	Uehara A, Abe M, Shimizu A, Motegi S-I, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Successful treatment of lichen spinulosus with topical adapalene.	Eur J Dermatol. 25(5):490-491, 2015
14	Yamada K, Motegi S-I, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Epstein-Barr virus-related post-transplant lymphoproliferative disorder in the skin.	J Dermatol 42(9):936-937, 2015
15	Yasuda M, Kishi C, Yokoyama Y, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	A case of X-linked hypohidrotic ectodermal dysplasia with a novel EDA missense mutation.	J Dermatol 42(9):907-908, 2015
16	Motegi S-I, Uchiyama A, Toki S, Yamada K, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Successful treatment of neutrophilic dermatosis in patient with Crohn's disease with granulocyte and monocyte adsorption apheresis.	J Dermatol 42(8):836-837, 2015
17	Ishibuchi H, Motegi S-I, Yamanaka M, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder: Sequential development of angioimmunoblastic T-cell lymphoma in the lymph nodes and diffuse large B-cell lymphoma in the skin in the same patient.	Eur J Dermatol 25(4):361-362, 2015
18	Ishibuchi H, Motegi S-I, Amano H, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Successful treatment with dapsone for skin lesions of amyopathic dermatomyositis.	J Dermatol 42(8):1019-1021, 2015
19	Uchiyama A, Motegi S-I, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Poorly differentiated squamous cell carcinoma in an atomic bomb survivor.	Ann Dermatol 27(3):332-334, 2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
20	Shimizu A, Yasuda M, Hoshijima K, Kato M, Takahashi A, Tamura A, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Detection of human papillomavirus type 67 in subungual Bowen's disease presenting as longitudinal melanonychia.	Acta Derma Venereol 95(6):745-746, 2015
21	Uchiyama A, Motegi S-I, Okada E, Hirai N, Nagai Y, Tamura A, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	Cutaneous marginal zone B-cell lymphoma evolving into anetoderma: a role of matrix metalloproteinases ?	Acta Derm Venereol 95(4): 499-500, 2015
22	Kato M, Shimizu A, Ishikawa O.	群馬大学皮膚科	A case of familial Michelin tire baby syndrome.	J Dermatol 42(5): 534-536, 2015
23	Sugaya T, Sakamoto M, Nakazawa R, Wada N	リハビリテーション部	Relationship between spinal range of motion and trunk muscle activity during trunk rotation.	J Phys Ther Sci.
24	Takahashi K, Yamaji T, Wada N, Shirakura K, Watanabe H.	リハビリテーション部	Trunk kinematics and muscle activities during arm elevation.	J Orthop Sci.
25	Hashimoto T, Yoshiuchi K, Inada S, Shirakura K, Wada N, Takeuchi K, Matsushita M.	リハビリテーション医学	Physical activity of elderly patients with rheumatoid arthritis and healthy individuals: an actigraphy study.	Biopsychosoc Med.
26	Irie T, Kaneko Y, Nakajima T, Kurabayashi M.	内科診療センター	Successful ablation of premature ventricular contractions originating from the ascending aorta.	Indian Pacing Electrophysiol J. 2015 Jul 29;15(2):138-40.
27	Goto K, Kasama S, Sato M, Kurabayashi M.	内科診療センター	Myocardial scintigraphic evidence of Kounis syndrome: what is the aetiology of acute coronary syndrome?	Eur Heart J. 2016 Apr 7;37(14):1157
28	Shibata M, Uchida M, Tsukagoshi S, Yamaguchi K, Yamaguchi A, Furuta N, Makioka K, Maeno T, Fujita Y, Kurabayashi M, Ikeda Y.	内科診療センター	Anti-Hu Antibody-associated Paraneoplastic Neurological Syndrome Showing Peripheral Neuropathy and Atypical Multifocal Brain Lesions.	Intern Med. 2015;54(23):3057-60
29	Kaneko Y, Naito S, Okishige K, Morishima I, Tobiume T, Nakajima T, Irie T, Ota M, Iijima T, Iizuka T, Tamura M, Tamura S, Saito A, Igawa O, Kato R, Matsumoto K, Suzuki F, Kurabayashi M	内科診療センター	Atypical Fast-Slow Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia Incorporating a "Superior" Slow Pathway: A Distinct Supraventricular Tachyarrhythmia.	Circulation. 2016 Jan 12;133(2):114-23
30	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Ota M, Iijima T, Iizuka T, Kurabayashi M.	内科診療センター	An Abrupt Change in the Atrio-His Interval during Long RP Tachycardia: What Is the Underlying Mechanism?	Pacing Clin Electrophysiol. 2016 Feb;39(2):190-3

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
31	Uchiyama T, Tomono S, Sato K, Nakamura T, Kurabayashi M, Okajima F.	内科診療センター	Angiotensin II Reduces Lipoprotein Lipase Expression in Visceral Adipose Tissue via Phospholipase C β 4 Depending on Feeding but Increases Lipoprotein Lipase Expression in Subcutaneous Adipose Tissue via c-Src.	PLoS One. 2015 Oct 8;10(10):
32	Irie T, Kurosawa K, Kaneko Y, Nakajima T, Tateno R, Kurabayashi M.	内科診療センター	Left intraventricular dyssynchrony caused by a false tendon.	J Arrhythm. 2015 Jun;31(3):163-6
33	Obokata M, Negishi K, Ohyama Y, Okada H, Imai K, Kurabayashi M.	内科診療センター	A Risk Score with Additional Four Independent Factors to Predict the Incidence and Recovery from Metabolic Syndrome: Development and Validation in Large Japanese Cohorts.	PLoS One. 2015 Jul 31;10(7):e0133884.
34	Suga T, Akuzawa N, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Kurabayashi M.	内科診療センター	ST segment elevation in secondary cardiac cancer: a case report and review of the literature.	Int J Clin Exp Med. 2015 May 15;8(5):7719-27
35	Araki S, Izumiya Y, Rokutanda T, Ianni A, Hanatani S, Kimura Y, Onoue Y, Senokuchi T, Yoshizawa T, Yasuda O, Koitabashi N, Kurabayashi M, Braun T, Bober E, Yamagata K, Ogawa H.	内科診療センター	Sirt7 Contributes to Myocardial Tissue Repair by Maintaining Transforming Growth Factor- β Signaling Pathway.	Circulation. 2015 Sep 22;132(12):1081-93
36	Matsuo Y, Gleitsmann K, Mangner N, Werner S, Fischer T, Bowen TS, Kricke A, Matsumoto Y, Kurabayashi M, Schuler G, Linke A, Adams V.	内科診療センター	Fibronectin type III domain containing 5 expression in skeletal muscle in chronic heart failure-relevance of inflammatory cytokines.	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2015 Mar;6(1):62-72
37	Koitabashi N, Ohyama Y, Tateno R, Arai M, Rokutanda N, Horiguchi J, Kurabayashi M	内科診療センター	Reversible Cardiomyopathy After Epirubicin Administration.	Int Heart J. 2015;56(4):466-8
38	Nakajima T, Kaneko Y, Saito A, Ota M, Iijima T, Kurabayashi M.	内科診療センター	Enhanced fast-inactivated state stability of cardiac sodium channels by a novel voltage sensor SCN5A mutation, R1632C, as a cause of atypical Brugada syndrome.	Heart Rhythm. 2015 Nov;12(11):2296-304
39	Irie T, Kaneko Y, Nakajima T, Kurabayashi M	内科診療センター	Arrhythmogenic isthmus bounded with post-surgical right ventricular aneurysm	Intern Med. 2015;54(9):1155-6
40	Kurabayashi M.	内科診療センター	[Vascular Calcification - Pathological Mechanism and Clinical Application - . Role of vascular smooth muscle cells in vascular calcification].	Clin Calcium. 2015 May;25(5):661-9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
41	Nakajima T, Kaneko Y, Kurabayashi M.	内科診療センター	Unveiling specific triggers and precipitating factors for fatal cardiac events in inherited arrhythmia syndromes.	Circ J. 2015;79(6):1185-92
42	Kaneko Y, Kato ', Nakahara S, Tobiume T, Morishima I, Tanaka K, Nakajima T, Irie T, Kusano KF, Kamakura S, Nagase T, Takayanagi K, Matsumoto K, Kurabayashi M	内科診療センター	Characteristics and catheter ablation of focal atrial tachycardia originating from the interatrial septum.	Heart Lung Circ. 2015 Oct;24(10):988-95
43	Obokata M, Negishi K, Marwick TH, Kurosawa K, Ishida H, Ito K, Ogawa T, Ando Y, Kurabayashi M.	内科診療センター	Comparison of different interdialytic intervals among hemodialysis patients on their echocardiogram-based cardiovascular parameters.	Am Heart J. 2015 Apr;169(4):523-30
44	Akuzawa N, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Kurabayashi M	内科診療センター	Cross-sectional study of patients with onset of acute coronary syndrome during statin therapy.	J Clin Med Res. 2015 May;7(5):324-31
45	Akuzawa N, Seki H, Oku Y, Totsuka M, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Aoki J, Tashiro M, Kurabayashi M.	内科診療センター	Three cases of spontaneous isolated dissection of the superior mesenteric artery.	J Emerg Med. 2015 May;48(5):e111-6
46	Kasama S, Toyama T, Funada R, Takama N, Koitabashi N, Ichikawa S, Suzuki Y, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M.	内科診療センター	Effects of adding intravenous nicorandil to standard therapy on cardiac sympathetic nerve activity and myocyte dysfunction in patients with acute decompensated heart failure.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2015 Apr;42(5):761-70
47	Kaneko Y, Nakajima T, Ota M, Kurabayashi M.	内科診療センター	His-bundle bigeminy evidenced by short his-ventricular interval.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2015 May;26(5):572-3
48	Kaneko Y, Nakajima T, Kurabayashi M.	内科診療センター	Does the prepotential truly reflect the activation preceding the development of ventricular arrhythmias?	J Cardiovasc Electrophysiol. 2015 Apr;26(4):E4
49	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Kurabayashi M.	内科診療センター	Shortening of retrograde conduction time over slow pathway after atrial stimulation.	Heart Rhythm. 2015 May;12(5):1097-9
50	Taguchi T, Adachi H, Hoshizaki H, Oshima S, Kurabayashi M.	内科診療センター	Effect of physical training on ventilatory patterns during exercise in patients with heart disease.	J Cardiol. 2015 Apr;65(4):343-8.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
51	Murata M, Adachi H, Oshima S, Kurabayashi M.	内科診療センター	Influence of stroke volume and exercise tolerance on peak oxygen pulse in patients with and without beta-adrenergic receptor blockers in patients with heart disease.	Murata M, Adachi H, Oshima S, Kurabayashi M
52	Kasama S, Toyama T, Kurabayashi M	内科診療センター	Usefulness of Cardiac Sympathetic Nerve Imaging Using (123)Iodine-Metaiodobenzylguanidine Scintigraphy for Predicting Sudden Cardiac Death in Patients With Heart Failure.	Int Heart J. 2016;57(2):140-4
53	Matsuo Y, Kasama S, Toyama T, Funada R, Takama N, Koitabashi N, Ichikawa S, Suzuki Y, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M.	内科診療センター	Comparative effects of long-acting and short-acting loop diuretics on cardiac sympathetic nerve activity in patients with chronic heart failure.	Open Heart. 2016 Feb 2;3(1):e000276.
54	Tomono J, Adachi H, Oshima S, Kurabayashi M	内科診療センター	Usefulness of anaerobic threshold to peak oxygen uptake ratio to determine the severity and pathophysiological condition of chronic heart failure.	J Cardiol. 2016 Feb 8
55	Fujita K, Kasama S, Kurabayashi M	内科診療センター	Pitfalls in the management of isolated pulmonary Takayasu's arteritis after surgery: a case report of an experience during 34 months after a pulmonary artery graft replacement.	J Cardiothorac Surg. 2016 Jan 16
56	Yoshida K, Nakajima T, Kaneko Y, Kurabayashi M	内科診療センター	Implication of Left Bundle Branch Block-Related Cardiac Memory in the Initiation of Torsades de Pointes.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2016 Jun;27(6):757-8
57	Musha A, Shimada H, Shirai K, Saitoh J, Yokoo S, Chikamatsu K, Ohno T, Nakano T.	重粒子線医学センター/耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Prediction of Acute Radiation Mucositis using an Oral Mucosal Dose Surface Model in Carbon Ion Radiotherapy for Head and Neck Tumors.	PLoS One. 2015 Oct 29;10(10):e0141734.
58	Kaira K, Toyoda M, Shimizu A, Shino M, Sakakura K, Takayasu Y, Takahashi K, Asao T, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Expression of ER stress markers (GRP78/BiP and PERK) in adenoid cystic carcinoma.	Acta Otolaryngol. 2016;136(1):1-7.
59	Takahashi H, Sakakura K, Kawabata-Iwakawa R, Rokudai S, Toyoda M, Nishiyama M, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Immunosuppressive activity of cancer-associated fibroblasts in head and neck squamous cell carcinoma.	Cancer Immunol Immunother 2015;64:1407-1417.
60	Nikkuni O, Kaira K, Toyoda M, Shino M, Sakakura K, Takahashi K, Tominaga H, Oriuchi N, Suzuki M, Iijima M, Asao T, Nishiyama M, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Expression of Amino Acid Transporters (LAT1 and ASCT2) in Patients with Stage III/IV Laryngeal Squamous Cell Carcinoma.	Pathol Oncol Res 2015;21:1175-1181.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
61	Okamiya T, Takahashi K, Kamada H, Hirato J, Motoi T, Fukumoto S, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/病理部	Oncogenic osteomalacia caused by an occult paranasal sinus tumor.	Auris Nasus Larynx 2015;42:167-169.
62	Toyoda M, Kaira K, Shino M, Sakakura K, Takahashi K, Takayasu Y, Tominaga H, Oriuchi N, Nikkuni O, Suzuki M, Iijima M, Tsukamoto N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科/病理部	CD98 is a novel prognostic indicator for patients with stage III/IV hypopharyngeal squamous cell carcinoma.	Head Neck 2015;37:1569-1574.
63	Sasahira N, Hamada T, Togawa O, Yamamoto R, Iwai T, Tamada K, Kawaguchi Y, Shimura K, Koike T, Yoshida Y, Sugimori K, Ryozaawa S, Kakimoto T, Nishikawa K.	消化器・肝臓内科	Multicenter study of endoscopic preoperative biliary drainage for malignant distal biliary obstruction.	World J Gastroenterol
64	Hoshi K, Irisawa A, Shibukawa G, Yamabe A, Fujisawa M, Igarashi R, Sato A, Maki T	消化器・肝臓内科	Agenesis of the Gallbladder in Monozygotic Twin Sisters.	Case Rep Gastrointest Med
65	Yamabe A, Irisawa A, Shibukawa G, Hoshi K, Fujisawa M, Igarashi R, Abe Y, Imbe K	消化器・肝臓内科	An experimental study to assess the best maneuver when using a reverse side-bevel histology needle for EUS-guided fine-needle biopsy.	Endosc Int Open
66	Mukai S, Itoi T, Ashida R, Tsuchiya T, Ikeuchi N, Kamada K, Tanaka R, Umeda J, Tonozuka R, Fukutake N, Hoshi K, Moriyasu F, Gotoda T, Irisawa A.	消化器・肝臓内科	Multicenter, prospective, crossover trial comparing the door-knocking method with the conventional method for EUS-FNA of solid pancreatic masses (with videos).	Gastrointest Endosc.
67	Sato K, Yamazaki Y, Ohyama T, Kobayashi T, Horiguchi N, Kakizaki S, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Combination therapy with daclatasvir and asunaprevir for dialysis patients infected with hepatitis C virus.	World J Clin Cases.
68	Suga T, Sato K, Yamazaki Y, Ohyama T, Horiguchi N, Kakizaki S, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Probable case of drug reaction with eosinophilia and systemic symptom syndrome due to combination therapy with daclatasvir and asunaprevir.	World J Clin Cases.
69	Kumada H, Chayama K, Rodrigues L Jr, Suzuki F, Ikeda K, Toyoda H, Sato K, Karino Y, Matsuzaki Y, Kioka K, Setze C, Pilot-Matias T, Patwardhan M, Vilchez RA, Burroughs M, Redman R.	消化器・肝臓内科	Randomized phase 3 trial of ombitasvir/paritaprevir/ritonavir for hepatitis C virus genotype 1b-infected Japanese patients with or without cirrhosis.	Hepatology.
70	Chayama K, Notsumata K, Kurosaki M, Sato K, Rodrigues L Jr, Setze C, Badri P, Pilot-Matias T, Vilchez RA, Kumada H.	消化器・肝臓内科	Randomized trial of interferon- and ribavirin-free ombitasvir/paritaprevir/ritonavir in treatment-experienced hepatitis C virus-infected patients.	Hepatology.
71	Kumada H, Sato K, Takehara T, Nakamuta M, Ishigami M, Chayama K, Toyota J, Suzuki F, Nakayasu Y, Ochi M, Yamada I, Okanoue T.	消化器・肝臓内科	Efficacy of telaprevir-based therapy for difficult-to-treat patients with genotype 2 chronic hepatitis C in Japan.	Hepatol Res.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
72	Suzuki Y, Yamazaki Y, Hashizume H, Kobayashi T, Ohyama T, Horiguchi N, Sato K, Kakizaki S, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Endoscopic treatment for esophageal varices complicated by Isaacs' syndrome involving difficulty with conventional sedation.	Clin J Gastroenterol.
73	Kakizaki S, Horiguchi N, Otsuka T, Takizawa D, Yamazaki Y, Sato K, Ohno Y, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor of the Liver.	Intern Med.
74	Horiguchi N, Kakizaki S, Iizuka K, Hagiwara S, Ohyama T, Yamazaki Y, Shibusawa N, Sato K, Kusano M, Nakazato Y, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Hepatic Angiosarcoma with Dyskeratosis Congenita.	Intern Med.
75	Hatanaka T, Kakizaki S, Yuhei S, Takeuchi S, Shimada Y, Takizawa D, Katakai K, Sato K, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma located in the caudate lobe of the liver.	Acta Gastroenterol Belg.
76	Seki Y, Kakizaki S, Horiguchi N, Hashizume H, Tojima H, Yamazaki Y, Sato K, Kusano M, Yamada M, Kasama K.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Prevalence of nonalcoholic steatohepatitis in Japanese patients with morbid obesity undergoing bariatric surgery.	J Gastroenterol.
77	Kodama S, Yamazaki Y, Negishi M	消化器・肝臓内科	Pregnane X Receptor Represses HNF4 α Gene to Induce Insulin-Like Growth Factor-Binding Protein IGFBP1 that Alters Morphology of and Migrates HepG2 Cells.	Mol Pharmacol.
78	Takeuchi S, Yamazaki Y, Sato K, Takizawa D, Yamada M, Okamoto H.	消化器・肝臓内科	Full genome analysis of a European-type genotype 3 hepatitis E virus variant obtained from a Japanese patient with autochthonous acute hepatitis E.	J Med Virol
79	Shuichi Hagiwara, Minoru Kaneko, Masato Murata, Makoto Aoki, Jun Nakajima, Masahiko Kanbe, Yoshio Ohyama, Jun`ichi Tamura and Kiyohiro Oshima	救急医学	Study on the Effectiveness of Cardiopulmonary Resuscitation in Elderly Patients Presenting with Cardiopulmonary Arrest on Arrival.	INTERNAL MEDICINE
80	Shuichi Hagiwara, Kiohiro Oshima, Masato Murata, Minoru Kaneko, Makoto Aoki, Masahiko Kanbe, Takuro Nakamura, Yoshio Ohyama, and Jun ichi Tamura	救急医学	Model for predicting the injury severity score.	Acute Medicine & Surgery
81	Makoto Aoki, Kei Shibuya, Minoru Kaneko, Ayana Koizumi, Masato Murata, Jun Nakajima, Shuichi Hagiwara, Masahiko Kanbe, Yoshinori Koyama, Yoshito Tsushima and Kiyohiro Oshima	救急医学/放射線診断核医学	Massive hemothorax due to inferior phrenic artery injury after blunt trauma	World Journal of Emergency Surgery

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
82	Shuichi Hagiwara, SOS-KANTO 2012 Study group	救急医学	Study on the priority of coronary arteriography or therapeutic hypothermia after return of spontaneous circulation in patients with out-of-hospital cardiac arrest : results from the SOS-KANTO 2012 study	Intern Emerg Med
83	Makoto Aoki, Hiroyuki Tokue, Yoshinori Koyama, Yoshito Tsushima and Kiyohiro Oshima	救急医学	Transcatheter arterial embolization with Nbutyl cyanoacrylate for arterial esophageal bleeding in esophageal cancer patients	World Journal of Surgical Oncology
84	Araki T, Kirihara K, Koshiyama D, Nagai T, Tada M, Fukuda M, Kasai K	精神科神経科	Intact neural activity during a Go/No-go task is associated with high global functioning in schizophrenia.	Clin Neurosci
85	Miyata S, Kurachi M, Okano Y, Sakurai N, Kobayashi A, Harada K, Yamagata H, Matsuo K, Takahashi K, Narita K, Fukuda M, Mikuni M	精神科神経科	Blood transcriptomic markers in patients with late-onset major depressive disorder.	PLoS ONE
86	Takei Y, Fujihara K, Tagawa M, Hironaga N, Near J, Kasagi M, Takahashi Y, Motegi T, Suzuki Y, Aoyama Y, Sakurai N, Yamaguchi M, Tobimatsu S, Ujita K, Tsushima Y, Narita K, Fukuda M	精神科神経科/ 核医学科	The inhibition/excitation ratio related to task-induced oscillatory modulations during a working memory task: a multimodal-imaging study using MEG and MRS.	NeuroImage
87	Kurita S, Takei Y, Maki Y, Hattori S, Uehara T, Fukuda M, Mikuni M	精神科神経科	A magnetoencephalography study of the effect of attention modulation on somatosensory processing in patients with major depressive disorder.	Clin Neurosci
88	Fujihara K, Miwa H, Kakizaki T, Kaneko R, Mikuni M, Tanahira C, Tamamaki N, Yanagawa Y	精神科神経科	Glutamate decarboxylase 67 deficiency in a subset of GABAergic neurons induces schizophrenia-related phenotypes.	Neuropsychopharmacology
89	Fujihara K, Narita K, Suzuki Y, Takei Y, Suda M, Tagawa M, Ujita K, Sakai Y, Narumoto J, Near J, Fukuda M	精神科神経科	Relationship of γ -aminobutyric acid and glutamate + glutamine concentrations in the perigenual anterior cingulate cortex with performance of Cambridge gambling task.	NeuroImage
90	Funane T, Sato H, Yahata N, Takizawa R, Nishimura Y, Kinoshita A, Katura T, Atsumori H, Fukuda M, Kasai K, Koizumi H, Kiguchi M	精神科神経科	Concurrent fNIRS-fMRI measurement to validate a method for separating deep and shallow fNIRS signals by using multidistance optodes.	Neurophotonics
91	Kasai K, Fukuda M, Yahata N, Morita K, Fujii N	精神科神経科	The future of real-world neuroscience: imaging techniques to assess active brains in social environments.	Neurosci Res

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
92	Suzuki K, Namiki M, Fujimoto T, Takabayashi N, Kudou K and Akaza H.	泌尿器科学	Efficacy and safety of leuprorelin acetate 6-month depot in prostate cancer patients: a Phase III, randomized, open-label, parallel-group, comparative study in Japan.	Japanese J Clin Oncol 45(12):1168-1174, 2015年12月
93	Miyazawa Y, Kato H, Arai S, Furuya Y, Sekine Y, Nomura M, Koike H, Matsui H, Shibata Y, Ito K and Suzuki K.	泌尿器科	Clinical endocrinological evaluation of the gonadal axis(testosterone, LH and FSH) in prostate cancer patients switched from a GnRH antagonist to a LHRH agonist.	Basic and Clinical Andrology 25:7, 2015年7月
94	Kato H, Sekine Y, Furuya Y, Miyazawa Y, Koike H and Suzuki K.	泌尿器科	Metformin inhibits the proliferation of human prostate cancer PC-3 cells via the downregulation of insulin-like growth factor 1 receptor.	Biochem Biophys Res Commun 461(1):115-121, 2015年5月
95	Ohtaki Y, Shimizu K, Kaira K, Nagashima T, Obayashi K, Nakazawa S, Kakegawa S, Igai H, Kamiyoshihara M, Nishiyama M, Takeyoshi I.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Risk factors associated with recurrence of surgically resected node-positive non-small cell lung cancer.	Surg Today. 2016 Jan 19.
96	Tsuboi M, Yamane A, Horiguchi J, Yokobori T, Kawabata-Iwakawa R, Yoshiyama S, Rokudai S, Odawara H, Tokiniwa H, Oyama T, Takeyoshi I, Nishiyama M.	外科診療センター/病理部/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	APOBEC3B high expression status is associated with aggressive phenotype in Japanese breast cancers.	Breast Cancer. 2015 Oct 17.
97	Yokobori T, Bao P, Fukuchi M, Altan B, Ozawa D, Rokudai S, Bai T, Kumakura Y, Honjo H, Hara K, Sakai M, Sohda M, Miyazaki T, Ide M, Nishiyama M, Oyama T, Kuwano H.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Nuclear PROX1 is Associated with Hypoxia-Inducible Factor 1 α Expression and Cancer Progression in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S1566-73.
98	Putra AC, Eguchi H, Lee KL, Yamane Y, Gustine E, Isobe T, Nishiyama M, Hiyama K, Poellinger L, Tanimoto K.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	The A Allele at rs13419896 of EPAS1 Is Associated with Enhanced Expression and Poor Prognosis for Non-Small Cell Lung Cancer.	PLoS One. 2015 Aug 11;10(8):e0134496.
99	Azuma Y, Yokobori T, Mogi A, Altan B, Yajima T, Kosaka T, Onozato R, Yamaki E, Asao T, Nishiyama M, Kuwano H.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	SIRT6 expression is associated with poor prognosis and chemosensitivity in patients with non-small cell lung cancer.	J Surg Oncol. 2015 Aug;112(2):231-7.
100	Shoji H, Motegi M, Osawa K, Okonogi N, Okazaki A, Andou Y, Asao T, Kuwano H, Takahashi T, Ogoshi K.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Radiofrequency thermal treatment with chemoradiotherapy for advanced rectal cancer.	Oncol Rep. 2016 May;35(5):2569-75.
101	Kaira K, Toyoda M, Shimizu A, Imai H, Sakakura K, Nikkuni O, Suzuki M, Iijima M, Asao T, Chikamatsu K.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of GRP78/BiP expression in patients with Stage III/IV hypopharyngeal squamous cell carcinoma.	Neoplasma. 2016;63(3):477-83.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
102	Kaira K, Toyoda M, Shimizu A, Mori K, Shino M, Sakakura K, Takayasu Y, Takahashi K, Oyama T, Asao T, Chikamatsu K.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Expression of ER stress markers (GRP78/BiP and PERK) in patients with tongue cancer.	Neoplasma. 2016;63(4):588-94.
103	Honjo H, Kaira K, Miyazaki T, Yokobori T, Kanai Y, Nagamori S, Oyama T, Asao T, Kuwano H.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Clinicopathological significance of LAT1 and ASCT2 in patients with surgically resected esophageal squamous cell carcinoma.	J Surg Oncol. 2016 Mar;113(4):381-9.
104	Tsutsumi S, Morita H, Fujii T, Suto T, Yajima R, Takada T, Asao T, Kuwano H.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Feasibility of Reduced Port Laparoscopic Colectomy for Colon Cancer.	Hepatogastroenterology. 2015 Jun;62(140):873-5.
105	Shimizu A, Kaira K, Yasuda M, Asao T, Ishikawa O.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of thymidylate synthase (TS) expression in cutaneous malignant melanoma.	Neoplasma. 2016;63(2):282-7.
106	Takahashi R, Yokobori T, Osone K, Tatsuki H, Takada T, Suto T, Yajima R, Kato T, Fujii T, Tsutsumi S, Kuwano H, Asao T.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Establishment of a novel method to evaluate peritoneal microdissemination and therapeutic effect using luciferase assay.	Cancer Sci. 2016 Mar;107(3):341-6.
107	Shoji H, Motegi M, Osawa K, Okonogi N, Okazaki A, Andou Y, Asao T, Kuwano H, Takahashi T, Ogoshi K.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Output-limiting symptoms induced by radiofrequency hyperthermia. Are they predictable?	Int J Hyperthermia. 2016 Mar;32(2):199-203.
108	Shimizu A, Kaira K, Mori K, Kato M, Shimizu K, Yasuda M, Takahashi A, Oyama T, Asao T, Ishikawa O.	病理部/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of β 2-adrenergic receptor expression in malignant melanoma.	Tumour Biol. 2016 May;37(5):5971-8.
109	Shimizu A, Kaira K, Yasuda M, Asao T, Ishikawa O.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Decreased expression of class III β -tubulin is associated with unfavourable prognosis in patients with malignant melanoma.	Melanoma Res. 2016 Feb;26(1):29-34.
110	Kaira K, Nakamura K, Hirakawa T, Imai H, Tominaga H, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Tsukamoto N, Oyama T, Asao T, Minegishi T.	病理部/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in patients with ovarian tumors.	Am J Transl Res. 2015 Jun 15;7(6):1161-71.
111	Shoji H, Motegi M, Osawa K, Okonogi N, Okazaki A, Andou Y, Asao T, Kuwano H, Takahashi T, Ogoshi K.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	A novel strategy of radiofrequency hyperthermia (neothermia) in combination with preoperative chemoradiotherapy for the treatment of advanced rectal cancer: a pilot study.	Cancer Med. 2015 Jun;4(6):834-43.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
112	Kimura M, Naito T, Kenmotsu H, Taira T, Wakuda K, Oyakawa T, Hisamatsu Y, Tokito T, Imai H, Akamatsu H, Ono A, Kaira K, Murakami H, Endo M, Mori K, Takahashi T, Yamamoto N.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic impact of cancer cachexia in patients with advanced non-small cell lung cancer.	Support Care Cancer. 2015 Jun;23(6):1699-708.
113	Yokobori Y, Toyoda M, Sakakura K, Kaira K, Tsushima Y, Chikamatsu K.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科学/核医学科	(18)F-FDG uptake on PET correlates with biological potential in early oral squamous cell carcinoma.	Acta Otolaryngol. 2015 May;135(5):494-9.
114	Miura S, Kaira K, Kaira R, Akamatsu H, Ono A, Shukuya T, Tsuya A, Nakamura Y, Kenmotsu H, Naito T, Murakami H, Takahashi T, Endo M, Yamamoto N.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	The efficacy of amrubicin on central nervous system metastases originating from small-cell lung cancer: a case series of eight patients.	Invest New Drugs. 2015 Jun;33(3):755-60.
115	Kaira K, Imai H, Yamada M.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Recurrent intimal sarcoma mimicking pulmonary embolism.	Jpn J Clin Oncol. 2015 Jul;45(7):695-6.
116	Masuda T, Imai H, Kuwako T, Miura Y, Yoshino R, Kaira K, Shimizu K, Sunaga N, Tomizawa Y, Ishihara S, Mogi A, Hisada T, Minato K, Takise A, Saito R, Yamada M.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Efficacy of platinum combination chemotherapy after first-line gefitinib treatment in non-small cell lung cancer patients harboring sensitive EGFR mutations.	Clin Transl Oncol. 2015 Sep;17(9):702-9.
117	Kuwako T, Imai H, Masuda T, Miura Y, Seki K, Yoshino R, Kaira K, Utsugi M, Shimizu K, Sunaga N, Tomizawa Y, Ishihara S, Ishizuka T, Mogi A, Hisada T, Minato K, Takise A, Saito R, Yamada M.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	First-line gefitinib treatment in elderly patients (aged ≥ 75 years) with non-small cell lung cancer harboring EGFR mutations.	Cancer Chemother Pharmacol. 2015 Oct;76(4):761-9.
118	Chino H, Hagiwara E, Sugisaki M, Baba T, Koga Y, Hisada T, Kaira K, Okudela K, Takemura T, Dobashi K, Ogura T.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Pulmonary Aluminosis Diagnosed with In-air Microparticle Induced X-ray Emission Analysis of Particles.	Intern Med. 2015;54(16):2035-40.
119	Yazawa T, Shimizu K, Kaira K, Nagashima T, Ohtaki Y, Atsumi J, Obayashi K, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Takeyoshi I.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Clinical significance of coexpression of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) and ASC amino acid transporter 2 (ASCT2) in lung adenocarcinoma.	Am J Transl Res. 2015 Jun 15;7(6):1126-39.
120	Kaira K, Naruse I, Imai H, Sunaga N, Hisada T, Motegi M, Asao T, Yamada M.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Dramatic Response of S-1 Administration to Chemorefractory Advanced Thymic Cancer.	Chemotherapy. 2014;60(5-6):356-9.
121	Yoshino R, Imai H, Mori K, Tomizawa Y, Takei K, Tomizawa M, Kaira K, Yoshii A, Watanabe S, Saito R, Yamada M.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Clinical impact of postprogression survival for overall survival in elderly patients (aged 75 years or older) with advanced nonsmall cell lung cancer.	J Cancer Res Ther. 2015 Jul-Sep;11(3):606-11.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
122	Kamide Y, Kaira K, Watanabe T, Kuribayashi S, Ozawa A, Koga Y, Ono A, Sunaga N, Hisada T, Oyama T, Yamada M.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Anaplastic Lymphoma Kinase (ALK) Rearrangement-positive Lung Cancer with Transformation to Pleomorphic Carcinoma.	Intern Med. 2015;54(22):2905-9.
123	Yatomi M, Hisada T, Ishizuka T, Koga Y, Ono A, Kamide Y, Seki K, Aoki-Saito H, Tsurumaki H, Sunaga N, Kaira K, Dobashi K, Yamada M, Okajima F.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	17(R)-resolvin D1 ameliorates bleomycin-induced pulmonary fibrosis in mice.	Physiol Rep. 2015 Dec;3(12). pii: e12628.
124	Imai H, Matsumura N, Yamazaki Y, Kanayama Y, Masuda T, Kuwako T, Kamide Y, Tomizawa T, Matsumoto S, Mitsui T, Kaira K, Ono A, Koga Y, Shibusawa N, Sunaga N, Hisada T, Yokoo H, Yamada M.	内科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Hydroxyurea-induced Pneumonitis in a Patient with Chronic Myelomonocytic Leukemia: An Autopsy Case.	Intern Med. 2015;54(24):3171-6.
125	Imai H, Kaira K, Mori K, Ono A, Akamatsu H, Matsumoto S, Taira T, Kenmotsu H, Harada H, Naito T, Murakami H, Endo M, Nakajima T, Yamada M, Takahashi T.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of diabetes mellitus in locally advanced non-small cell lung cancer.	BMC Cancer. 2015 Dec 21;15:989.
126	Wei L, Tominaga H, Ohgaki R, Wiryasermkul P, Hagiwara K, Okuda S, Kaira K, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Specific transport of 3-fluoro-L- α -methyl-tyrosine by LAT1 explains its specificity to malignant tumors in imaging.	Cancer Sci. 2016 Mar;107(3):347-52.
127	Shimizu A, Hattori M, Kaira K, Ishikawa O.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Keratotic condyloma acuminatum.	J Dermatol. 2016 Jun;43(6):716-7.
128	Kasahara N, Imai H, Kaira K, Mori K, Wakuda K, Ono A, Taira T, Kenmotsu H, Harada H, Naito T, Murakami H, Endo M, Nakajima T, Yamada M, Takahashi T.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Clinical impact of post-progression survival on overall survival in patients with limited-stage disease small cell lung cancer after first-line chemoradiotherapy.	Radiol Oncol. 2015 Nov 27;49(4):409-15.
129	Wei L, Tominaga H, Ohgaki R, Wiryasermkul P, Hagiwara K, Okuda S, Kaira K, Kato Y, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Transport of 3-fluoro-L- α -methyl-tyrosine (FAMT) by organic ion transporters explains renal background in [(18)F]FAMT positron emission tomography.	J Pharmacol Sci. 2016 Feb;130(2):101-9.
130	Tanaka K, Shimizu K, Kakegawa S, Ohtaki Y, Nagashima T, Kaira K, Horiguchi J, Oyama T, Takeyoshi I.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Prognostic significance of aromatase and estrogen receptor beta expression in EGFR wild-type lung adenocarcinoma.	Am J Transl Res. 2016 Jan 15;8(1):81-97.
131	Imai H, Murakami H, Yoshino R, Mori K, Sumita K, Ono A, Akamatsu H, Taira T, Kenmotsu H, Harada H, Naito T, Kaira K, Tomizawa Y, Ohde Y, Matsuura M, Endo M, Saito R, Nakajima T, Takahashi T.	トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Comparison of the efficacy of radiotherapy between postoperative mediastinal lymph node recurrence and stage III disease in non-small cell lung cancer patients.	J BUON. 2016 Mar-Apr;21(2):333-40.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
132	Kuranami S, Yokobori T, Mogi A, Altan B, Yajima T, Onozato R, Azuma Y, Iijima M, Kosaka T, Kuwano H.	外科診療センター/トランスレーショナル・リサーチセンター/先端医療科	Src kinase-associated phosphoprotein2 expression is associated with poor prognosis in non-small cell lung cancer.	Anticancer Res. 2015 Apr;35(4):2411-5.
133	Deguchi K, Kawahara Y, Deguchi S, Morimoto N, Kurata T, Ikeda Y, Ichikawa T, Tokunaga K, Kawai N, Sugiu K, Abe K.	Departments of Neurology	A patient develops transient unique cerebral and cerebellar lesions after unruptured aneurysm coiling.	BMC Neurol.
134	Furuta N, Ishizawa K, Shibata M, Tsukagoshi S, Nagamine S, Makioka K, Fujita Y, Ikeda M, Yoshimura S, Motomura M, Okamoto K	Departments of Neurology	Anti-MuSK Antibody-positive Myasthenia Gravis Mimicking Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Intern Med.
135	Hirayanagi K, Sato M, Furuta N, Makioka K, Ikeda Y.	Departments of Neurology	Juvenile-onset Sporadic Amyotrophic Lateral Sclerosis with a Frameshift FUS Gene Mutation Presenting Unique Neuroradiological Findings and Cognitive Impairment.	Intern Med.
136	Kawahara Y, Ikeda Y, Deguchi K, Kurata T, Hishikawa N, Sato K, Kono S, Yunoki T, Omote Y, Yamashita T, Abe K	Departments of Neurology	Simultaneous assessment of cognitive and affective functions in multiple system atrophy and cortical cerebellar atrophy in relation to computerized touch-panel screening tests.	J Neurol Sci.
137	Ding H, Hayashida K, Suto T, Sukhtankar DD, Kimura M, Mendenhall V, Ko MC.	麻酔科蘇生科	Supraspinal actions of nociceptin/orphanin FQ, morphine and substance P in regulating pain and itch in non-human primates.	Br J Pharmacol. 172(13):3302-12, 2015
138	Kimura M, Suto T, Morado-Urbina CE, Peters CM, Eisenach JC, Hayashida K.	麻酔科蘇生科	Impaired pain-evoked analgesia after nerve injury in rats reflects altered glutamate regulation in the locus coeruleus.	Anesthesiology. 123(4):899-908, 2015
139	Kimura M, Suto T, Eisenach JC, Hayashida K.	麻酔科蘇生科	Down-regulation of astroglial glutamate transporter-1 in the locus coeruleus impairs pain-evoked endogenous analgesia in rats.	Neurosci Lett. 608:18-22, 2015
140	Mita N, Kuroda M, Saito S, Miyoshi S.	麻酔科蘇生科	Effect of lateral body position on transesophageal echocardiography images and the association with patient characteristics: A prospective observational study.	Ann Card Anaesth 18: 299-305, 2015
141	Yamada MH, Takazawa T, Iriuchijima N, Horiuchi T, Saito S.	麻酔科蘇生科	Changes in intraocular pressure during surgery in the lateral decubitus position under sevoflurane and propofol anesthesia.	J Clin Monit Comput. [Epub ahead of print] 2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
142	Shimoda Y, Okada S, Shimoyama Y, Kusano M, Yamada M	光学医療診療部	Maturity onset diabetes of the young 5 accompanied by duodenal cysts.	J Diabetes.
143	Shimoyama Y, Sugimoto K, Kotake M, Uehara D, Kamide Y, Kuribayashi S, Kawamura O, Kusano M, Handa H, Hirato J, Yamada M.	光学医療診療部/病理部	Two Cases of Intravascular Lymphoma Diagnosed by Gastrointestinal Endoscopic Biopsy.	Intern Med.
144	Fujiwara M, Eguchi Y, Fukumori N, Eguchi H, Tomonaga M, Yoshioka T, Hyakutake M, Sakanishi Y, Kyoraku I, Sugioka T, Fujimoto K, Kusano M, Yamashita S.	光学医療診療部	The Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease Correlate with High Body Mass Index, the Aspartate Aminotransferase/Alanine Aminotransferase Ratio and Insulin Resistance in Japanese Patients with Non-alcoholic Fatty Liver Disease.	Intern Med.
145	Tomizawa T, Kawamura O, Kusano M.	光学医療診療部	A Case of Proton Pump Inhibitor-Resistant Multiple Gastric Ulcers Caused by Eosinophilic Gastroenteritis.	Clin Gastroenterol Hepatol.
146	Kawamura O, Kohata Y, Kawami N, Iida H, Kawada A, Hosaka H, Shimoyama Y, Kuribayashi S, Fujiwara Y, Iwakiri K, Inamori M, Kusano M, Hongo M.	光学医療診療部	Liquid-containing and acid refluxes may be less frequent in the Japanese population -Normal values of 24-hour esophageal impedance and pH monitoring.	J Neurogastroenterol Motil.
147	Takeshita E, Sakata Y, Hara M, Akutagawa K, Sakata N, Endo H, Ohyama T, Matsunaga K, Yoshioka T, Kawakubo H, Tanaka Y, Shirai S, Ito Y, Tsuruoka N, Iwakiri R, Kusano M, Fujimoto	光学医療診療部	Higher Frequency of Reflux Symptoms and Acid-Related Dyspepsia in Women than Men Regardless of Endoscopic Esophagitis: Analysis of 3,505 Japanese Subjects Undergoing Medical Health Checkups.	Digestion
148	Kato H, Kitagawa Y, Kuwano H, Toh Y, Kusano M, Oyama T, Muto M, Takeuchi H, Doki Y, Naomoto Y, Nemoto K, Matsubara H, Miyazaki T, Yanagisawa A, Uno T, Kato K, Yoshida M, Kawakubo H, Booka E, Nakajima M, Kaneko K, Shiotani A, The Committee for the "Guidelines for diagnosis and treatment of carcinoma of the esophagus" in the Japan Esophageal Society.	光学医療診療部	Neo-adjuvant therapy or definitive chemoradiotherapy can improve laryngeal preservation rates in patients with cervical esophageal cancer. A Japanese nationwide survey.	Esophagus
149	Sawada Y, Ishii S, Koga Y, Tomizawa T, Matsui A, Tomaru T, Ozawa A, Shibusawa N, Satoh T, Shimizu H, Hirato J, Yamada M.	Gunma University Graduate School of Medicine, Department of Medicine and Molecular Science	Reversible Hypopituitarism Associated with Intravascular Large B-Cell Lymphoma: Case Report of Successful Immunochemotherapy.	Tohoku J Exp Med. 2016;238(3):197-203. doi: 10.1620/tjem.238.197.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
150	Nakajima Y, Okamura T, Horiguchi K, Gohko T, Miyamoto T, Satoh T, Ozawa A, Ishii S, Yamada E, Hashimoto K, Okada S, Takata D, Horiguchi J, Yamada M.	Gunma University Graduate School of Medicine, Department of Medicine and Molecular Science	GNAS mutations in adrenal aldosterone-producing adenomas.	Endocr J. 2016;63(2):199-204. doi: 10.1507/endocrj.EJ15-0642. Epub 2016 Jan 6.
151	Saito T, Okada S, Yamada E, Shimoda Y, Osaki A, Tagaya Y, Shibusawa R, Okada J, Yamada M.	Gunma University Graduate School of Medicine, Department of Medicine and Molecular Science	Effect of dapagliflozin on colon cancer cell [Rapid Communication].	Endocr J. 2015;62(12):1133-7. doi: 10.1507/endocrj.EJ15-0396. Epub 2015 Oct 31.
152	Shimoda Y, Okada S, Yamada E, Pessin JE, Yamada M.	Gunma University Graduate School of Medicine, Department of Medicine and Molecular Science	Tctex1d2 Is a Negative Regulator of GLUT4 Translocation and Glucose Uptake.	Endocrinology. 2015 Oct;156(10):3548-58. doi: 10.1210/en.2015-1120. Epub 2015 Jul 22.
153	Okamura T, Nakajima Y, Satoh T, Hashimoto K, Sapkota S, Yamada E, Okada S, Fukuda J, Higuchi T, Tsushima Y, Yamada M.	内科診療センター/核医学科	Changes in visceral and subcutaneous fat mass in patients with pheochromocytoma.	Metabolism. 2015 Jun;64(6):706-12. doi: 10.1016/j.metabol.2015.03.004. Epub 2015 Mar 14.
154	Isozaki O, Satoh T, Wakino S, Suzuki A, Iburi T, Tsuboi K, Kanamoto N, Otani H, Furukawa Y, Teramukai S, Akamizu T.	Gunma University Graduate School of Medicine, Department of Medicine and Molecular Science	Treatment and management of thyroid storm: analysis of the nationwide surveys: The taskforce committee of the Japan Thyroid Association and Japan Endocrine Society for the establishment of diagnostic criteria and nationwide surveys for thyroid storm.	Clin Endocrinol (Oxf). 2016 Jun;84(6):912-8. doi: 10.1111/cen.12949. Epub 2015 Oct 28.
155	Tsushima Y, Ishiguchi T, Murakami T, Hayashi H, Hayakawa K, Fukuda K, Korogi Y, Sugimoto H, Takehara Y, Narumi Y, Arai Y, Kuwatsuru R, Yoshimitsu K, Awai K, Kanematsu M, Takagi R.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Safe use of iodinated and gadolinium-based contrast media in current practice in Japan: a questionnaire survey.	Jpn J Radiol. 2016 Feb;34(2):130-9
156	Tosaka M, Tsushima Y, Watanabe S, Sakamoto K, Yodonawa M, Kunimine H, Fujita H, Fujii T	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Superficial subarachnoid cerebrospinal fluid space expansion after surgical drainage of chronic subdural hematoma.	Acta Neurochir (Wien). 2015 Jul;157(7):1205-14

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
157	Kumasaka S, Miyazaki M, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	CT-Guided Percutaneous Cryoablation of an Aggressive Osteoblastoma: A Case Report.	J Vasc Interv Radiol. 2015 Nov;26(11):1746-8
158	Kasama S, Toyama T, Sato M, Sano H, Ueda T, Sasaki T, Nakahara T, Higuchi T, Tsushima Y, Kurabayashi M.	核医学科、内科診療センター	Prognostic value of myocardial perfusion single photon emission computed tomography for major adverse cardiac cerebrovascular and renal events in patients with chronic kidney disease: results from first year of follow-up of the Gunma-CKD SPECT multicenter study.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2016 Feb;43(2):302-11. doi: 10.1007/s00259-015-3197-0. Epub 2015 Sep 25.
159	Shintawati R, Achmad A, Higuchi T, Shimada H, Hirasawa H, Arisaka Y, Takahashi A, Nakajima T, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Evaluation of bone scan index change over time on automated calculation in bone scintigraphy.	Ann Nucl Med. 2015 Dec;29(10):911-20
160	Shitara H, Shimoyama D, Sasaki T, Hamano N, Ichinose T, Yamamoto A, Kobayashi T, Osawa T, Iizuka H, Hanakawa T, Tsushima Y, Takagishi K.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	The Neural Correlates of Shoulder Apprehension: A Functional MRI Study.	PLoS One. 2015 Sep 9;10(9):e0137387
161	Hoshino H, Higuchi T, Achmad A, Taketomi-Takahashi A, Fujimaki H, Tsushima Y	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	A new approach for simple radioisotope cisternography examination in cerebrospinal fluid leakage detection.	Ann Nucl Med. 2016 Jan;30(1):40-8
162	Tokue H, Takahashi Y, Hirasawa S, Awata S, Kobayashi S, Shimada T, Tokue A, Sano R, Kominato Y, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Intestinal obstruction in a mentally retarded patient due to pica.	Ann Gen Psychiatry. 2015 Jul 31;14:22
163	Yonemoto Y, Okamura K, Takeuchi K, Kaneko T, Kobayashi T, Okura C, Tsushima Y, Takagishi K.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	[18F]fluorodeoxyglucose uptake as a predictor of large joint destruction in patients with rheumatoid arthritis	Rheumatol Int. 2016 Jan;36(1):
164	Hayashi N, Yarita K, Sakata K, Motegi S, Nagase H, Ujita K, Ogura A, Ogura T, Shimada T, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	[Development of an Optimizing Program of Scanning Parameters for Double Inversion Recovery MRI].	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi. 2015 Jun;71(6):512-9
165	Yamaguchi A, Hanaoka H, Fujisawa Y, Zhao S, Suzue K, Morita A, Tominaga H, Higuchi T, Hisaeda H, Tsushima Y, Kuge Y, Iida Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Differentiation of malignant tumours from granulomas by using dynamic [(18)F]-fluoro-L- α -methyltyrosine positron emission tomography.	EJNMMI Res. 2015 Apr 30;5:29
166	Tokue A, Higuchi T, Arisaka Y, Nakajima T, Tokue H, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Role of F-18 FDG PET/CT in assessing IgG4-related disease with inflammation of head and neck glands.	Ann Nucl Med. 2015 Jul;29(6):499-505

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
167	Hanaoka H, Ohshima Y, Suzuki Y, Yamaguchi A, Watanabe S, Uehara T, Nagamori S, Kanai Y, Ishioka NS, Tsushima Y, Endo K, Arano Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Development of a Widely Usable Amino Acid Tracer: ^{76}Br - α -Methyl-Phenylalanine for Tumor PET Imaging.	J Nucl Med. 2015 May;56(5):791-7
168	Fukushima Y, Taketomi-Takahashi A, Nakajima T, Tsushima Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Prefecture-wide multi-centre radiation dose survey as a useful tool for CT dose optimisation: report of Gunma radiation dose study.	Radiat Prot Dosimetry. 2015 Dec;167(4):519-24.
169	Tosaka M, Sato K, Amanuma M, Higuchi T, Arai M, Aishima K, Shimizu T, Horiguchi K, Sugawara K, Yoshimoto Y.	Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine	Superficial siderosis of the central nervous system caused by hemorrhagic intraventricular craniopharyngioma: case report and literature review.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2015;55(1):89-94.
170	Makoto Suzuki, Yasuyuki Uchida, Kenjiro Ogushi, Sayaka Otake, Hiroyuki Kuwano	Division of Pediatric Surgery, Integrative Center of General Surgery, Gunma University Hospital Department of General Surgical Science, Gunma University Graduate School of Medicine	A thoracic duct cyst in 10-year-old boy: The youngest case report and review of the literature	J Ped Surg Case Reports
171	Kunio Yanagisawa, Daisuke Nagano, Yoshiyuki Ogawa, Hideki Uchiumia, Tetsuya Shigehara, Kazuhisa Saruki, Hiroshi Handa, Takuya Araki, Koujiro Yamamoto, Yoshihisa Nojima	薬剤部	Raltegravir is safely used with long-term viral suppression for HIV-infected patients on hemodialysis: a pharmacokinetic study	AIDS
172	Kamide Y, Ishizuka T, Tobo M, Tsurumaki H, Aoki H, Mogi C, Nakakura T, Yatomi M, Ono A, Koga Y, Sato K, Hisada T, Dobashi K, Yamada M, Okajima F.	Department of Medicine and Molecular Science, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan	Acidic environment augments Fc ϵ RI-mediated production of IL-6 and IL-13 in mast cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Aug 28;464(3):949-55.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
173	Tsurumaki H, Mogi C, Aoki-Saito H, Tobo M, Kamide Y, Yatomi M, Sato K, Dobashi K, Ishizuka T, Hisada T, Yamada M, Okajima F.	Department of Medicine and Molecular Science, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan	Protective Role of Proton-Sensing TDAG8 in Lipopolysaccharide-Induced Acute Lung Injury.	Int J Mol Sci.
174	Fujii T, Sutoh T, Kigure W, Morita H, Katoh T, Yajima R, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	外科診療センター	C-reactive protein level as a possible predictor for early postoperative ileus following elective surgery for colorectal cancer.	Hepatogastroenterology.
175	Ojima H, Ando H, Sohda H, Sano A, Ogawa A, Mochida Y, Fukai Y, Kuwano H	外科診療センター	A case of mesenteric angiosarcoma treated by preoperative embolization followed by surgery.	Int Canc Conf J.
176	Ueo H, Sugimachi K, Gorges TM, Bartkowiak K, Yokobori T, Mテシller V, Shinden Y, Ueda M, Ueo H, Mori M, Kuwano H, Maehara Y, Ohno S, Pantel K, Mimori K.	外科診療センター	Circulating tumour cell-derived platin3 is a novel marker for predicting long-term prognosis in patients with breast cancer.	Br J Cancer.
177	Fujii T, Morita H, Sutoh T, Yajima R, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	外科診療センター	Outlet Obstruction of Temporary Loop Diverting Ileostomy.	Hepatogastroenterology.
178	Fujii T, Suto T, Kigure W, Morita H, Katoh T, Yajima R, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	外科診療センター	Clinicopathological Features of Second Primary Colorectal Cancer Incidentally Identified by 18F-FDG-PET.	Hepatogastroenterology.
179	Fujii T, Yajima R, Morita H, Hirakata T, Miyamoto T, Fujisawa T, Tsutsumi S, Ynagita Y, Iijima M, Kuwano H.	外科診療センター	Impact of vascular invasion of a primary tumor as a strong risk factor for disease recurrence in patients with node-positive breast cancer.	Am Surg.
180	Miyazaki T, Sohda M, Tanaka N, Suzuki S, Ieta K, Sakai M, Sano A, Yokobori T, Inose T, Nakajima M, Fukuchi M, Ojima H, Kato H, Kuwano H.	外科診療センター	Phase I/II study of docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil combination chemoradiotherapy in patients with advanced esophageal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol.
181	Mogi A, Yajima T, Tomizawa K, Onozato R, Tanaka S, Kuwano H.	外科診療センター	Video-Assisted Thoracoscopic Surgery after Preoperative CT-Guided Lipiodol Marking of Small or Impalpable Pulmonary Nodules.	Ann Thorac Cardiovasc Surg.
182	Nakajima M, Kato H, Sakai M, Sano A, Miyazaki T, Sohda M, Inose T, Yokobori T, Tanaka N, Suzuki S, Masuda N, Fukuchi M, Kuwano H	外科診療センター	Significant relationship between preoperative serum concentration of anti-heat shock protein 70 antibody and postoperative morbidity in patients with esophageal cancer.	Eur Surg.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
183	Ohara N, Kaneko M, Kuwano H, Ebe K, Fujita T, Nagai T, Furukawa T, Aizawa Y, Kamoi K.	外科診療センター	Erratum: fulminant type 1 diabetes mellitus and fulminant viral myocarditis.	Int Heart J.
184	Ohara N, Kaneko M, Kuwano H, Ebe K, Fujita T, Nagai T, Furukawa T, Aizawa Y, Kamoi K.	外科診療センター	Fulminant type 1 diabetes mellitus and fulminant viral myocarditis. A case report and literature review.	Int Heart J.
185	Shimura T, Suzuki H, Araki K, Kobayashi T, Yashima R, Kohunato Y, Okada R, Shibata M, Kuwano H, Takenoshita S.	外科診療センター	Our contrivances to diminish complications after pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy.	Int Surg.
186	Subarnas A, Diantini A, Abdulah R, Zuhrotun A, Hadisaputri YE, Puspitasari IM, Yamazaki C, Kuwano H, Koyama H.	外科診療センター	Apoptosis induced in MCF-7 human breast cancer cells by 2',4'-dihydroxy-6-methoxy-3,5-dimethylchalcone isolated from Eugenia aquae Burm f. leaves.	Oncol Lett.
187	Yamauchi H, Sakurai S, Nakazawa N, Yoshida T, Tabe Y, Saitoh K, Fukasawa T, Kiriyaama S, Naitoh H, Kuwano H.	外科診療センター	A case of mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the stomach with focal intestinal metaplasia and hypergastrinemia.	Int Surg.
188	Yamazaki K, Kuwano H, Ojima H, Otsuji T, Kato T, Shimada K, Hyodo I, Nishina T, Shirao K, Esaki T, Ohishi T, Denda T, Takeuchi M, Boku N.	外科診療センター	A randomized phase II study of combination therapy with S-1, oral leucovorin, and oxaliplatin (SOL) and mFOLFOX6 in patients with previously untreated metastatic colorectal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol.
189	Yokobori T, Suzuki S, Miyazaki T, Sohda M, Sakai M, Tanaka N, Ozawa D, Hara K, Honjo H, Altan B, Fukuchi M, Ishii H, Iwatsuki M, Sugimachi K, Sudo T, Iwaya T, Nishida N, Mimori K, Kuwano H, Mori M.	外科診療センター	Intestinal epithelial culture under an air-liquid interface: a tool for studying human and mouse esophagi.	Dis Esophagus.
190	Fujii T, Yajima R, Tatsuki H, Suto T, Morita H, Tsutsumi S, Kuwano H.	外科診療センター	Significance of lymphatic invasion combined with size of primary tumor for predicting sentinel lymph node metastasis in patients with breast cancer.	Anticancer Res.
191	Fukuchi M, Saito K, Naitoh H, Kuwano H	外科診療センター	Endoscopic gluing for intrathoracic anastomotic fistula following esophagectomy : a case report.	Esophagus.
192	Fukuchi M, Sakurai S, Tsukagoshi R, Naitoh H, Kuwano H	外科診療センター	A case of large cell neuroendocrine carcinoma of the esophagogastric junction.	Esophagus.
193	Ishii N, Suzuki H, Tsukagoshi M, Watanabe A, Kubo N, Araki K, Wada S, Kuwano H.	外科診療センター	Giant Cholangiolocellular Carcinoma With Early Recurrence That Was Difficult to Distinguish From Cholangiocellular Carcinoma: Report of a Case.	Int Surg.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
194	Nakajima M, Kato H, Sakai M, Sano A, Miyazaki T, Sohda M, Inose T, Tanaka N, Suzuki S, Masuda N, Fukuchi M, Kuwano H.	外科診療センター	Planned Esophagectomy after Neoadjuvant Hyperthermo-Chemoradiotherapy using Weekly Low-Dose Docetaxel and Hyperthermia for Advanced Esophageal Carcinomas.	Hepatogastroenterology.
195	Sakai M, Sohda M, Miyazaki T, Honjo H, Hara K, Ozawa D, Suzuki S, Tanaka N, Yokobori T, Kuwano H.	外科診療センター	Usefulness of 18f-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography for Predicting the Pathological Response of Neoadjuvant Chemoradiotherapy for T4 Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Hepatogastroenterology.
196	Suzuki M, Ogata K, Kogure N, Kimura A, Toyomasu Y, Ohno T, Mochiki E, Kuwano H.	外科診療センター	Curative Resection Following Neoadjuvant Chemotherapy for Advanced Gastric Cancer With Preservation of a Right Gastroepiploic Artery Coronary Artery Bypass Graft: A Case Report.	Int Surg.
197	Watanabe A, Mochiki E, Kimura A, Kogure N, Yanai M, Ogawa A, Toyomasu Y, Ogata K, Ohno T, Suzuki H, Kuwano H.	外科診療センター	Nesfatin-1 suppresses gastric contractions and inhibits interdigestive migrating contractions in conscious dogs.	Dig Dis Sci.
198	Fujii T, Yajima R, Morita H, Suto T, Tatsuki H, Tsutsumi S, Kuwano H.	外科診療センター	Implication of duration of clinical presentation on tumor progression and short-term recurrence in patients with early breast cancer.	Mol Clin Oncol.
199	Suzuki H, Komuta M, Bolog A, Yokobori T, Wada S, Araki K, Kubo N, Watanabe A, Tsukagoshi M, Kuwano H.	外科診療センター	Relationship between 18-F-fluoro-deoxy-D-glucose uptake and expression of glucose transporter 1 and pyruvate kinase M2 in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Dig Liver Dis.
200	Yamanaka T, Miyazaki T, Kumakura Y, Honjo H, Hara K, Yokobori T, Sakai M, Sohda M, Kuwano H.	外科診療センター	Umbilical hernia with cholelithiasis and hiatal hernia: a clinical entity similar to Saint's triad.	Surg Case Rep.
201	Suzuki H, Wada S, Araki K, Kubo N, Watanabe A, Tsukagoshi M, Kuwano H.	外科診療センター	Xanthogranulomatous cholecystitis: Difficulty in differentiating from gallbladder cancer.	World J Gastroenterol.
202	Tomizawa K, Suda K, Takemoto T, Iwasaki T, Sakaguchi M, Kuwano H, Mitsudomi T.	外科診療センター	Progression after spontaneous regression in lung large cell neuroendocrine carcinoma: Report of a curative resection.	Thorac Cancer.
203	Fukuchi M, Ishiguro T, Ogata K, Suzuki O, Kumagai Y, Ishibashi K, Ishida H, Kuwano H, Mochiki E.	外科診療センター	Prognostic Role of Conversion Surgery for Unresectable Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
204	Miyazaki T, Ojima H, Fukuchi M, Sakai M, Sohda M, Tanaka N, Suzuki S, Ieta K, Saito K, Sano A, Yokobori T, Inose T, Nakajima M, Kato H, Kuwano H.	外科診療センター	Phase II Study of Docetaxel, Nedaplatin, and 5-Fluorouracil Combined Chemotherapy for Advanced Esophageal Cancer.	Ann Surg Oncol.
205	Ri M, Miyata H, Aikou S, Seto Y, Akazawa K, Takeuchi M, Matsui Y, Konno H, Gotoh M, Mori M, Motomura N, Takamoto S, Sawa Y, Kuwano H, Kokudo N.	外科診療センター	Effects of body mass index (BMI) on surgical outcomes: a nationwide survey using a Japanese web-based database.	Surg Today.
206	Sumi D, Tsurumoto M, Yoshino Y, Inoue M, Yokobori T, Kuwano H, Himeno S.	外科診療センター	High accumulation of arsenic in the esophagus of mice after exposure to arsenite.	Arch Toxicol.
207	Toh Y, Kitagawa Y, Kuwano H, Kusano M, Oyama T, Muto M, Kato H, Takeuchi H, Doki Y, Naomoto Y, Nemoto K, Matsubara H, Miyazaki T, Yanagisawa A, Uno T, Kato K, Yoshida M, Kawakubo H, Booka E	外科診療センター	A nation-wide survey of follow-up strategies for esophageal cancer patients after a curative esophagectomy or a complete response by definitive chemoradiotherapy in Japan	Esophagus.
208	Fujii T, Yajima R, Tatsuki H, Morita H, Suto T, Tsutsumi S, Kuwano H.	外科診療センター	Immediate Tissue-expander Breast Reconstruction Using a Skin Flap with Thick Subcutaneous Tissue: A Preliminary Study on Selective Patients.	Am Surg.
209	Fukuchi M, Ishiguro T, Ogata K, Kimura A, Kumagai Y, Ishibashi K, Ishida H, Kuwano H, Mochiki E.	外科診療センター	Risk Factors for Recurrence After Curative Conversion Surgery for Unresectable Gastric Cancer.	Anticancer Res.
210	Kuwano H, Nishimura Y, Oyama T, Kato H, Kitagawa Y, Kusano M, Shimada H, Takiuchi H, Toh Y, Doki Y, Naomoto Y, Matsubara H, Miyazaki T, Muto M, Yanagisawa A.	外科診療センター	Guidelines for Diagnosis and Treatment of Carcinoma of the Esophagus April 2012 edited by the Japan Esophageal Society.	Esophagus.
211	Tomizawa K, Suda K, Takemoto T, Mizuno T, Kuroda H, Sakakura N, Iwasaki T, Sakaguchi M, Kuwano H, Mitsudomi T, Sakao Y.	外科診療センター	Prognosis and segment-specific nodal spread of primary lung cancer in the right lower lobe.	Thorac Cancer.
212	Committee for Scientific Affairs, The Japanese Association for Thoracic Surgery, Masuda M, Kuwano H, Okumura M, Arai H, Endo S, Doki Y, Kobayashi J, Motomura N, Nishida H, Saiki Y, Tanaka F, Tanemoto K, Toh Y, Yokomise H.	外科診療センター	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2013: Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.
213	Hadisaputri YE, Miyazaki T, Suzuki S, Kubo N, Zuhrotun A, Yokobori T, Abdulah R, Yazawa S, Kuwano H.	外科診療センター	Molecular characterization of antitumor effects of the rhizome extract from Curcuma zedoaria on human esophageal carcinoma cells.	Int J Oncol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
214	Kiriyama S, Naitoh H, Fukuchi M, Yuasa K, Horiuchi K, Fukasawa T, Tabe Y, Yamauchi H, Suzuki M, Yoshida T, Saito Y, Kuwano H.	外科診療センター	Evaluation of abdominal circumference and salivary amylase activities after unsedated colonoscopy using carbon dioxide and air insufflations.	J Dig Dis.
215	Miyazaki T, Honjyo H, Sohda M, Sakai M, Hara K, Tanaka N, Yokobori T, Nakajima M, Kato H, Kuwano H.	外科診療センター	Successful Tumor Navigation Technique During Intrathoracoscopic Esophagectomy: Laparoscopic Ultrasonography Using Endoscopically Placed Marking Clips.	J Am Coll Surg.
216	Nakazawa T, Nobusawa S, Ikota H, Kuwano H, Takeyoshi I, Yokoo H.	外科診療センター	Wide expression of ZEB1 in sarcomatous component of spindle cell carcinoma of the esophagus.	Pathol Int.
217	Ojima H, Sohda M, Ando H, Sano A, Fukai Y, Ogawa A, Mochida Y, Kuwano H.	外科診療センター	Relationship between functional end-to-end anastomosis for colon cancer and surgical site infections.	Surg Today.
218	Shoji H, Motegi M, Osawa K, Okonogi N, Okazaki A, Andou Y, Asao T, Kuwano H, Takahashi T, Ogoshi K:	外科診療センター	Output limiting symptoms induced by radiofrequency hyperthermia. Is it predictable?	Int J Hyperthermia.
219	Fujii T, Yajima R, Tatsuki H, Oosone K, Kuwano H.	外科診療センター	Anticancer effect of rapamycin on MCF-7 via downregulation of VEGF expression.	In Vitro Cell Dev Biol Anim.
220	Subarnas A, Diantini A, Abdulah R, Zuhrotun A, Nugraha PA, Hadisaputri YE, Puspitasari IM, Yamazaki C, Kuwano H, Koyama H.	外科診療センター	Apoptosis-mediated antiproliferative activity of friedolanostane triterpenoid isolated from the leaves of Garcinia celebica against MCF-7 human breast cancer cell lines.	Biomed Rep.
221	Toyomasu Y, Suzuki M, Yanoma T, Kimura A, Kogure N, Ogata K, Ohno T, Mochiki E, Kuwano H.	外科診療センター	Outcomes of patients with early gastric cancer who underwent double endoscopic intraluminal surgery.	Surg Endosc.
222	Takada T, Tsutsumi S, Takahashi R, Ohsone K, Tatsuki H, Suto T, Kato T, Fujii T, Yokobori T, Kuwano H.	外科診療センター	KPNA2 over-expression is a potential marker of prognosis and therapeutic sensitivity in colorectal cancer patients.	J Surg Oncol.
223	Karasaki T, Nagayama K, Kawashima M, Hiyama N, Murayama T, Kuwano H, Nitadori J, Anraku M, Sato M, Miyai M, Hosoi A, Matsushita H, Kikugawa S, Matoba R, Ohara O, Kakimi K, Nakajima J.	外科診療センター	Identification of Individual Cancer-Specific Somatic Mutations for Neoantigen-Based Immunotherapy of Lung Cancer.	J Thorac Oncol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
224	Kurozumi S, Inoue K, Takei H, Matsumoto H, Kurosumi M, Horiguchi J, Takeyoshi I, Oyama T.	外科診療センター/病理部	ER, PgR, Ki67, p27(Kip1), and histological grade as predictors of pathological complete response in patients with HER2-positive breast cancer receiving neoadjuvant chemotherapy using taxanes followed by fluorouracil, epirubicin, and cyclophosphamide concomitant with trastuzumab.	BMC Cancer.
225	Sunose Y, Hirai K, Nakazawa S, Yoshinari D, Ogawa H, Tsukagoshi H, Takahashi N, Yamazaki H, Motegi Y, Miyamae Y, Igarashi T, Takahashi K, Katoh R, Tanaka K, Takeyoshi I.	外科診療センター	Securing the surgical field in laparoscopic pancreatectomy using a Penrose drain and Endo Close.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.
226	Sunose Y, Hirai K, Nakazawa S, Yoshinari D, Ogawa H, Tsukagoshi H, Takahashi N, Yamazaki H, Motegi Y, Miyamae Y, Igarashi T, Takahashi K, Katoh R, Tanaka K, Takeyoshi I.	外科診療センター	Laparoscopic resection of a paraganglioma located on the border of the thoracic and abdominal cavities using a transabdominal-transdiaphragmatic approach.	Asian J Endosc Surg.
227	Kaira K, Arakawa K, Shimizu K, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Takeyoshi I.	外科診療センター	Relationship between CD147 and expression of amino acid transporters (LAT1 and ASCT2) in patients with pancreatic cancer.	Am J Transl Res. 20
228	Sunose Y, Hirai K, Nakazawa S, Yoshinari D, Ogawa H, Tsukagoshi H, Takahashi N, Yamazaki H, Motegi Y, Miyamae Y, Takamichi I, Takahashi K, Katoh R, Tanaka K, Takeyoshi I.	外科診療センター	Modified Pringle maneuver applicable for laparoscopic hepatectomy: Retraction.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.
229	Atsumi J, Hanami T, Enokida Y, Ogawa H, Delobel D, Mitani Y, Kimura Y, Soma T, Tagami M, Takase Y, Ichihara T, Takeyoshi I, Usui K, Hayashizaki Y, Shimizu K.	外科診療センター	Eprobe-mediated screening system for somatic mutations in the KRAS locus.	Oncol Rep.
230	Nagashima T, Shimizu K, Ohtaki Y, Obayashi K, Kakegawa S, Nakazawa S, Kamiyoshihara M, Igai H, Takeyoshi I.	外科診療センター	An analysis of variations in the bronchovascular pattern of the right upper lobe using three-dimensional CT angiography and bronchography.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.
231	Hashimoto K, Ota M, Irie T, Takata D, Nakajima T, Kaneko Y, Tanaka Y, Matsumoto S, Nakajima Y, Kurabayashi M, Oyama T, Takeyoshi I, Mori M, Yamada M.	外科診療センター	A Case of Type 2 Amiodarone-Induced Thyrotoxicosis That Underwent Total Thyroidectomy under High-Dose Steroid Administration.	Case Rep Endocrinol.
232	Kamiyoshihara M, Igai H, Ibe T, Kawatani N, Shimizu K, Takeyoshi I.	外科診療センター	A 3.5-cm Single-Incision VATS Anatomical Segmentectomy for Lung Cancer.	Ann Thorac Cardiovasc Surg.
233	Seki M, Sano T, Yokoo S, Oyama T.	病理部	Histologic assessment of tumor budding in preoperative biopsies to predict nodal metastasis in squamous cell carcinoma of the tongue and floor of the mouth.	Head Neck.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
234	Koshi H, Sano T, Handa T, Yanagawa T, Saitou K, Nagamori S, Kanai Y, Takagishi K, Oyama T.	病理部	L-type amino acid transporter-1 and CD98 expression in bone and soft tissue tumors.	Pathol Int.
235	Hoshikawa S, Sano T, Hirato J, Oyama T, Fukuda T.	病理部	Immunocytochemical analysis of p63 and 34 β E12 in fine needle aspiration cytology specimens for breast lesions: a potentially useful discriminatory marker between intraductal papilloma and ductal carcinoma in situ.	Cytopathology.
236	Sakakura K, Takahashi H, Kaira K, Toyoda M, Oyama T, Chikamatsu K.	病理部	Immunological significance of the accumulation of autophagy components in oral squamous cell carcinoma.	Cancer Sci.
237	Oike T, Ohno T, Noda SE, Murata T, Hirakawa T, Hirato J, Furuya M, Sato H, Hirota Y, Minegishi T, Nakano T.	病理部、放射線科	Leptomeningeal metastasis of uterine cervical cancer 17 years after primary tumor treatment.	Clin Case Rep
238	Nobusawa S, Hirato J, Sugai T, Okura N, Yamazaki T, Yamada S, Ikota H, Nakazato Y, Yokoo H.	病理部	Atypical teratoid/rhabdoid tumor (AT/RT) arising from ependymoma: A type of AT/RT secondarily developing from other primary central nervous system tumors.	J Neuropathol Exp Neurol
239	Yajima M, Nakajima K, Hirato J, Chikamatsu K.	病理部	Extranodal soft tissue Rosai-Dorfman disease of the head and neck and its diagnostic difficulty.	Auris Nasus Larynx
240	Ishikawa H, Katoh H, Kaminuma T, Kawamura H, Ito K, Matsui H, Hirato J, Shimizu N, Takezawa Y, Tsuji H, Suzuki K, Ohno T, Nakano T.	放射線科/病理部	Group for genitourinary tumors at Gunma Heavy Ion Medical Center. Carbon-ion radiotherapy for prostate cancer: analysis of morbidities and change in health-related quality of life.	Anticancer Res
241	Matsumura N, Nobusawa S, Ikota H, Hirato J, Hirose T, Yokoo H, Nakazato Y.	病理部	Coexpression of cyclin D1 and alpha-internexin in oligodendroglial tumors.	Brain Tumor Pathol
242	Hayase T, Morimoto A, Kawahara Y, Yagi M, Kanai N, Nobusawa S, Hirato J, Gomi A.	病理部	An infant with medulloepithelioma successfully treated by high-dose chemotherapy followed by autologous peripheral blood stem cell transplantation without radiotherapy.	J Pediatr Hematol Oncol
243	Iijima K, Hirato M, Miyagishima T, Horiguchi K, Sugawara K, Hirato J, Yokoo H, Yoshimoto Y.	病理部	Microrecording and image-guided stereotactic biopsy of deep-seated brain tumors.	J Neurosurg

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
244	Wakatsuki M (Ohno T, Kiyohara H, Irie D, Shiba S, Nakano T,)	National Institute of Radiological Sciences	Difference in distant failure site between locally advanced squamous cell carcinoma and adenocarcinoma of the uterine cervix after C-ion RT	J Radiat Res
245	Yoshimoto Y	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Carbon-ion beams induce production of an immune mediator protein, high mobility group box 1, at levels comparable with X-ray irradiation	Journal of Radiation Research
246	Inoue HK (Sato H, Noda S, Saitoh J, Suzuki Y.)	Dept of Neurosurgery and Radiation Oncology, Institute of Neural Organization and Cyber Center	Image Fusion for Radiosurgery, Neurosurgery and Hypofractionated Radiotherapy	Cureus
247	Okonogi N	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate	Topics in Chemotherapy, Molecular-targeted Therapy, and Immunotherapy for Newly-diagnosed Glioblastoma Multiforme.	Anticancer Res.
248	Kubo N	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate	Radiosensitizing effect of carboplatin and paclitaxel to carbon-ion beam irradiation in the non-small-cell lung cancer cell line H460.	J Radiat Res.
249	Amornwichee N	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	The EGFR mutation status affects the relative biological effectiveness of carbon-ion beams in non-small cell lung carcinoma cells	Scientific Reports
250	Ushijima H	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Radio-sensitization effect of an mTOR inhibitor, temsirolimus, on lung adenocarcinoma A549 cells under normoxic and hypoxic conditions	J Radiat Res
251	Isono M	Gunma University Heavy Ion Medical Center	Carbon-ion beams effectively induce growth inhibition and apoptosis in human neural stem cells compared with glioblastoma A172 cells	J Radiat Res

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
252	Ohno T	Gunma University Heavy Ion Medical Center, Gunma University	Concurrent chemoradiotherapy for T3-4 and N0-1 nasopharyngeal cancer: Asian multicenter trial of the Forum for Nuclear Cooperation in Asia	J Radiat Res
253	Tamaki T (Ohno T, Noda SE, Kato S, Nakano T.)	Department of Radiation Oncology, Saitama Medical University International Medical Center	Filling the gap in central shielding: three-dimensional analysis of the EQD2 dose in radiotherapy for cervical cancer with the central shielding technique	J Radiat Res
254	Kubota Y	Gunma University Heavy Ion Medical Center	Development of an automatic evaluation method for patient positioning error.	J Appl Clin Med Phys
255	Wakatsuki M (Kiyohara H, Ohno T)	Research Center for Charged Particle Therapy, National Institute of Radiological Sciences	Clinical Trial of Prophylactic Extended-Field Carbon-Ion Radiotherapy for Locally Advanced Uterine Cervical Cancer (Protocol 0508)	PLOS ONE
256	Okonogi N	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Clinical outcomes of helical tomotherapy for super-elderly patients with localized and locally advanced prostate cancer: comparison with patients under 80 years of age	J Radiat Res
257	Ariga T (Ohno T, Nakano T)	Department of Radiology, Graduate School of Medical Science, University of the Ryukyus	Treatment outcomes of patients with FIGO Stage I/II uterine cervical cancer treated with definitive radiotherapy: a multi-institutional retrospective research study	J Radiat Res
258	Nakajima NI (Takahiro Oike, Takashi Nakano, Atsushi Shibata)	Research Center for Charged Particle Therapy and International Open Laboratory, National Institute of Radiological Sciences)	Pre-Exposure to Ionizing Radiation Stimulates DNA Double Strand Break End Resection, Promoting the Use of Homologous Recombination Repair	PLOS ONE

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
259	Abe T	Gunma University , Department of Radiation Oncology	Dosimetric comparison of carbon ion radiotherapy and stereotactic body radiotherapy with photon beams for the treatment of hepatocellular carcinoma	Radiat Oncol
260	Abe T	Gunma University , Department of Radiation Oncology	Incidence, risk factors, and dose-volume relationship of radiation-induced rib fracture after carbon ion radiotherapy for lung cancer	Acta Oncologica
261	Nakano T	放射線科/光学医療診療部	Exploring new frontiers in heavy-ion radiotherapy	natureINDEX2015
262	Ma H	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Combining carbon ion irradiation and non-homologous end-joining repair inhibitor NU7026 efficiently kills cancer cells	Radiat Oncol
263	Ma H	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Targeting of Carbon Ion-Induced G2 Checkpoint Activation in Lung Cancer Cells Using Wee-1 Inhibitor MK-1775	Radiat Res
264	Matsumura A	Gunma University Heavy Ion Medical Center	Evaluation of an empirical monitor output estimation in carbon ion radiotherapy	Med Phys
265	Yoshida Y	Gunma University Heavy Ion Medical Center	Evaluation of therapeutic gain for fractionated carbon-ion radiotherapy using the tumor growth delay and crypt survival assays	Radiother Oncol
266	Yanagawa T (Kiyohara H, Ohno T, Nakano T)	Department of Orthopaedic Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine	Monitoring bone and soft-tissue tumors after carbon-ion radiotherapy using (18)F-FDG positron emission tomography: a retrospective cohort study	Radiat Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
267	Murakami, Naoya (Ohno T,)	Department of Radiation Oncology, National Cancer Center Hospital	A surveillance study of intensity-modulated radiation therapy for postoperative cervical cancer in Japan	Journal of Radiation Research
268	Oike, Takahiro	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Polymyositis and fatal interstitial pneumonia following pelvic irradiation that led to unexpectedly severe adverse effects: a case report	Clinical Case Reports
269	Umayahara K (Noda SE, Ohno T)	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with weekly cisplatin and paclitaxel in patients with locally advanced uterine cervical cancer: the JACCRO GY-01 trial	Gynecologic Oncology
270	Ohno T	Department of Radiation Oncology, Gunma University Graduate School of Medicine	A questionnaire-based survey on 3D image-guided brachytherapy for cervical cancer in Japan: advances and obstacles.	J Radiat Res

計270件

- (注)
- 1 H27年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断するものを記載。
 - 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が本院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものとした。ただし、実態上、大学の講座等と診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めた(筆頭著者が本院に所属している場合に限る)。
 - 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先(名称は当時のもの)をすべて記載。
 - 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 臨床研究法（案）の審議状況を考慮しつつ、手順書等の整備に向けた準備を進めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反の対象，委員会の設置，委員会での審議事項等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について	